EPSON

dreamio™

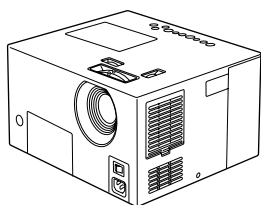
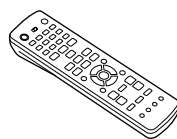
EMP-TWD3

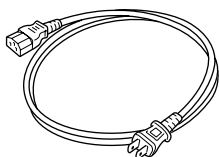
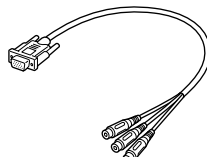
取扱説明書

お使いになる前に

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。本製品を、安全に正しくお使いいただくために、添付のマニュアル類をよくお読みください。不明な点はいつでも解決できるように､その後はすぐに見られる場所に大切に保存してください。

同梱品の確認

下記のチェックリストをご覧になり、同梱品を確認してください。万一、不足や不良がございましたら、お手数ですがお買い上げいただいた販売店にご連絡ください。

□本体

□リモコン

□単3形マンガン乾電池（2本）

□電源ケーブル（日本国内専用3m）

□コンポーネントビデオケーブル（25cm）

□取扱説明書（本書）

□レンズカバー

□日本語シール

□保証書

説明書中の表示の意味

表示	意味
注意	本機の故障や損傷の原因となるおそれがある内容を示しています。
ポイント	関連する情報や知っていると便利な情報を記載しています。
☞	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
❶　1	操作方法や作業の順番を示しています。 番号順に操作して目的の作業を行ってください。
⏻	リモコン、または本機のボタンを示しています。
[(表記名)]	本機の入出力端子名を示しています。 例：[Video]入力端子
「(メニュー名)」	画面に表示されるメニューの項目名やメッセージを示しています。 例：「明るさ」
DVD ビデオ　DVDビデオ	ディスクの種類によって、使える機能や実行できる操作が違う場合があります。 次のマークで対象となるディスクをお知らせします。 DVD ビデオ　ビデオ CD　SVCD　CD-R　CD-RW　オーディオ CD　MP3/ WMA　JPEG　外部ビデオ PC DVDビデオ　ビデオCD　SVCD　CD-R　CD-RW　オーディオCD　MP3/WMA　JPEG

目次

すぐ観たいとき

もっと使いこなそう

設定と調整

付 録

安全にお使いいただくために

安全に関する表示

本書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水場での使用禁止

接触禁止

行為を指示する記号

必ず行うこと

電源プラグを抜く

異常・故障時

⚠警告

次のような場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店、またはエプソンの各修理センターにご相談ください。

電源プラグを抜く

- 煙が出ている、変な臭い、変な音がする。
- 本機内部に水や異物が入った。
- 本機を落としたり、ケースを破損した。

そのまま使い続けると、火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから、絶対にしないでください。

サービスマン以外の方は、本書で指示している場合を除き、本機のケースを開けないでください。また、本機の分解・改造は、絶対にしないでください。

分解禁止

内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感電・事故の原因となります。

設置時

⚠警告

電源ケーブルを使用・取り扱う際は、次の点を守ってください。

必ず行うこと

誤って使用・取り扱うと、火災・感電・漏電事故の原因となります。

- 添付の電源ケーブル以外のものは使用しない。
- 破損した電源ケーブルは、使用しない。
  電源ケーブルが破損したら(芯線の露出、断線など)、販売店またはプロジェクターインフォメーションセンターにご相談ください。
- 電源ケーブルを加工しない。
- 電源ケーブルの上に重いものを載せない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- 電熱器の近くに配線しない。

電源プラグ・電源コネクタを取り扱う際は、次の点を守ってください。

必ず行うこと

誤って取り扱うと、火災・感電の原因となります。

- たこ足配線はしない。
- 電源プラグの刃や刃の付近のホコリを定期的に清掃する。清掃するときは、電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布でふき取ります。
- 電源プラグ・電源コネクタは根元まで確実に差し込む。
- 濡れた手で電源プラグ・電源コネクタの抜き差しをしない。
- 電源プラグ・電源コネクタを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らない。
  必ず、プラグやコネクタ本体を持って抜く。

⚠ 警告

表示されている電源電圧(交流100V)以外の電圧で使用しないでください。
指定以外の電圧を使うと、火災・感電の原因となります。

禁止

屋外や風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所で使用・設置しないでください。
火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

⚠ 注意

ぐらついた台の上・傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

本機の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。
小さなお子様のいるご家庭では、特に注意してください。

禁止

本機の吸気口・排気口をふさがないでください。
吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
次のような場所には設置しないでください。

- 押し入れ・本箱の中など、風通しの悪い狭いところ。
  排気口と壁などの間は、20cm以上開けてください。
  吸気口と壁などの間は、10cm以上開けてください。
- 布団・毛布・毛足の長いじゅうたんなどの上。
- 毛布・カーテン・テーブルクロスのような布をかけない。

禁止

ケーブル類は、足などが引っかからないように配線してください。
電源ケーブルやAVケーブルをケーブルの長さがぎりぎりのところなどに配線すると、足などを引っかけて機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

必ず行うこと

湿気やホコリの多い場所・調理台や加湿器のそばなど、油煙・湯気が当たる場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

禁止

使用時

⚠ 警告

本機の上に花瓶・水の入った容器・薬品などを置かないでください。
こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

禁止

電源投入後は、絶対にレンズをのぞかないでください。
強い光で、視力障害などの原因となります。小さなお子様のいるご家庭では、チャイルドロックを行うなど特に注意してください。

禁止

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。水銀ランプは、大きな音を伴って破裂することがあります。次のことを守って安全にお使いください。
以下の点を守らないと、けがや中毒を起こす原因となります。

- ランプに衝撃や傷を与えない。
- ランプが破裂した際は、破裂時に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入れないように注意するとともに、すみやかに部屋の換気を行う。
  水銀ランプ内部のガスには水銀が含まれています。万一、ランプ破裂時にガスを吸い込んだり、目や口にガスが入った場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
- ランプが破裂した際に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入れないようにするために、本機を使用中は、絶対に本機に顔を近づけない。

必ず行うこと

本機の吸気口・排気口・ディスクトレイから、金属類・燃えやすい物・異物などを差し込んだり、落としたりしないでください。
火災・感電の原因となります。小さなお子様のいるご家庭では、特に注意してください。

禁止

本機または電池の入ったリモコンを、窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。

禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグにさわらないでください。
感電の原因となります。

接触禁止

⚠注意

リモコンの電池を小さなお子様の手の届く場所に放置しないでください。

禁止

飲み込んだり、ノドに詰まらせることがあります。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

ディスク挿入口に手を入れないでください。

禁止

指をはさみ、けがの原因となります。小さなお子様のいるご家庭では、特に注意してください。

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。

禁止

ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

本機を移動させる場合は、必ず主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線をはずしたことを確認してから行ってください。

必ず行うこと

火災・感電の原因となることがあります。

電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品が腐食する原因となることがあります。次のことを守り、安全にお使いください。

必ず行うこと

- 種類の違う電池・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 本書指定の電池以外は使用しない。
- 電池から液がもれた場合は、もれた液を布などで拭き取り、新しい電池と交換する。もれた液が手などに付着した場合は、すぐに水で洗い流してください。
- 交換時期がきたら、電池をすぐに取り出す。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出す。
- 電池は加熱・分解・ショートしたり、火や水の中に投げ込んだりしない。
- 極性(＋、－)を正しく入れる。
- 電池を廃棄するときは、地域の回収ルールに従う。

初めから音量を上げすぎないでください。

禁止

突然大きな音が出て、聴力障害の原因やスピーカを破損することがあります。電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎなでください。

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

本機を使い終わったら、安全のため、必ず主電源スイッチを切ってください。

必ず行うこと

絶縁劣化により、火災の原因となることがあります。

投写中は、排気口の付近に熱で変形したり悪影響を受けるものを置いたり、手や顔を近づけたりしないでください。

禁止

排気口から温風が出るため、やけど・変形・事故の原因となります。

使用直後は、絶対にランプを取り出さないでください。電源を切って本書指定の時間が経過して、ランプ本体が十分冷えるまでお待ちください。

禁止

熱で、やけど・けがの原因となることがあります。

レンズカバーを取り付けたまま投写しないでください。

禁止

熱でレンズカバーが溶け、やけど・けがの原因となることがあります。

投写中に投写をさえぎる場合は、[映像On/Off]を押してください。☞p.23

お手入れ

⚠注意

お手入れの際には、電源プラグ・電源コネクタをコンセントから抜いて行ってください。

電源プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

1年に1度は、内部の掃除を依頼してください。

必ず行うこと

長期間、内部の掃除を行わないと、ホコリがたまり火災や感電の原因となります。1年に1度は、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに内部の掃除を依頼してください(有料)。特に、梅雨の前に掃除を行うことをお勧めします。

使用・保管上のお願い

故障や誤動作、破損の原因となりますので、次の注意事項を必ず守ってください。

取り扱い・保管上の留意点

- **本書指定の使用温度範囲、保管温度範囲を守って使用・保管してください。**
- **振動や衝撃が伝わる場所には設置しないでください。**
- **テレビやラジオ・ビデオなど磁気を発生するものの近くには設置しないでください。**
  本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えたり、正しく動作しない場合があります。万一、このような症状が発生した場合は、テレビやラジオ・ビデオから離してください。
- **本機を傾けて設置しないでください。**
- **再生中は本機を動かさないでください。**
  ディスクに傷がついたり、故障の原因となります。
- **たばこなどの煙が当たる場所、寝室などホコリの多い部屋での使用・保管はできるだけ避けてください。**
  投写映像の品質が劣化することがあります。
- **投写レンズを素手でさわらないでください。**
  レンズ面に指紋や皮脂が付くときれいに投写できません。本機を使用しないときはレンズにレンズカバーを取り付けてください。
- **本機の故障、およびランプ不点灯により発生した損害について、定められたサービス範囲以外は免責とさせていただきます。**

結露について

寒いところから暖かい部屋に本機を持ち込む、または本機を設置している部屋を急激に暖房した場合などは、レンズの表面や内部に水滴が付着(結露)することがあります。結露すると、映像がぼやけるなど正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷める原因となります。結露を防ぐには、ご使用になる1時間くらい前に使用する部屋に本機を設置するようにします。万一、結露したときは、主電源スイッチを入れて1～2時間待ってからお使いください。この間、ランプは点灯させないでください。

ランプについて

本機は光源に、内部圧力の高い水銀ランプを使っています。水銀ランプには次の特徴があります。

- 使用時間の経過にともなって、ランプの明るさが低下します。
- 衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などで、大きな音を伴って破裂したり、不点灯状態になったりして、寿命にいたります。
- ランプの個体差や使用条件によって寿命にいたるまでの時間に、かなり大きな差があります。
  万一に備えて、あらかじめ交換用ランプをご用意ください。
- ランプの交換時期を超えると、破裂する可能性が一段と高まります。
  ランプ交換のメッセージが表示されたら、すみやかに新しいランプと交換してください。

液晶パネルについて

- 液晶パネルは非常に精密な高い技術で作られていますが、黒い点が見えたり、赤や青、緑などの点が常時点灯することがあります。また、すじ状に色むらや明るさむらが見えることもあります。
  これは、液晶パネルの特性で起きるもので、故障ではありません。あらかじめ、ご了承ください。
- 静止画を投写したまま、長時間放置しないでください。
  投写映像に残像が表示されたまま(画像の焼きつき)になるおそれがあります。焼きつきは、いったん本機の電源を切りしばらく置くと解消されることがあります。万一、焼きつきが残ったままで解消されない場合は、お買い上げの販売店、またはエプソンの各修理センターにご相談ください。

本機を持ち運ぶ際のお願い

- レンズにレンズカバーを取り付けてください。
- ディスクを取り出して、ディスクトレイを閉じてください。
- 下図のように手をかけて、本機を移動してください。
  スピーカ部分などに手をかけるとネットを破損するおそれがあります。

輸送時のご注意

- 本機内部には、ガラス部品や精密部品を数多く使用しています。輸送の際は、衝撃による故障防止のため、お買い上げいただいたときの梱包箱と緩衝材を利用してください。
  梱包箱がない場合は、本機に衝撃が伝わらないように本機の周囲を緩衝材などで保護し、堅固なダンボール箱に入れて精密機器と指定の上、輸送してください。
- レンズからレンズカバーを外して梱包してください。
- 輸送は、精密機器輸送が可能な宅配業者に精密機器であることを告げ、依頼してください。

※お客様が、輸送の際に発生した故障に関する保証はいっさいできかねますので、ご了承ください。

著作権について

- 本機は、コピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外には、この技術の使用はできません。また、改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。
- ディスクを著作権者に無断で複製・放送・上映・公開演奏・レンタル（有償、無償に関わらず）することは、法律により禁止されています。

ステレオを聞くときのエチケット

楽しい音楽や映画の音も、ときには周囲の迷惑になります。隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲に良く通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

ディスクについて

再生できるディスク

次のディスクを再生できます。

DVDビデオ	オーディオCD
DVD VIDEO	COMPACT disc DIGITAL AUDIO
ビデオCD/SVCD(スーパービデオCD)	
Video CD PBC(プレイバックコントロール)付きビデオCD(バージョン2.0)に対応しています。	
CD-R/CD-RW	
以下のフォーマットで記録したディスクに限り再生できます。 • 音楽用フォーマット(ファイナライズされていること) • ビデオCDフォーマット • SVCDフォーマット • ISO9660で記録したMP3/WMA、JPEGディスク	
DVD-R/DVD-RW	
DVDビデオフォーマットで記録したディスクに限り再生できます(ファイナライズされていること)。	

- 本機のリージョン番号は「2」です。DVDビデオは、ディスクにリージョン番号が「2」、または「ALL」とディスクに表示されているものを再生できます。

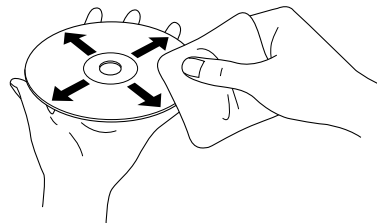
  例)

- コンパクトディスク(CD)規格に準拠していないコピーコントロールCD等のディスクは、本機では動作や音質を保証できません。
  CD規格に準拠したCDには、以下のコンパクトディスクロゴマークが表示されています。音楽ディスクパッケージの表示をご確認ください。
  COMPACT disc DIGITAL AUDIO
- 本機はNTSC・PALテレビ方式に対応しています。
- DVDビデオ、SVCD、ビデオCDは、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機は、ソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生しますので、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書を必ずご覧ください。
- DVD-R、DVD-RW、CD-R、CD-RW は、ディスクの傷・汚れ・反り・記録状態・記録条件が原因で再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。
- 次のディスクは、音声だけ再生できます。
  ・MIX-MODE CD ・CD-G ・CD-EXTRA
  ・CD TEXT

再生できないディスク

- 次のディスクは再生できません。間違って再生すると、騒音を発生しスピーカを破損することがあります。
  ・VRフォーマットで記録されたDVD-R/DVD-RW
  ・DVD-ROM ・CD-ROM ・PHOTO CD
  ・DVD+R ・DVD+RW ・DVD-RAM
  ・DVDオーディオ ・SACD ・DVD± R DL
- 直径12cm、または8cm以外の円形ディスク
- 円形以外の特殊な形状(ハート型や多角形など)をしたディスク

ディスクの取り扱い方

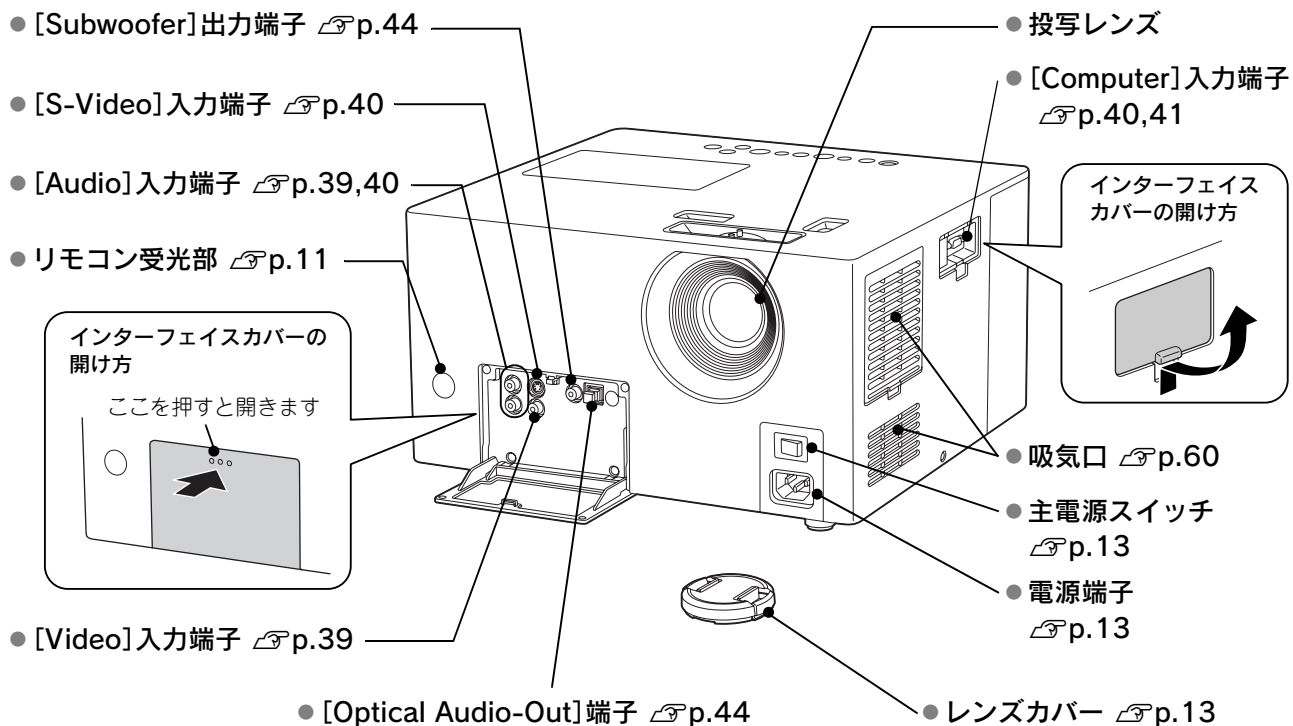
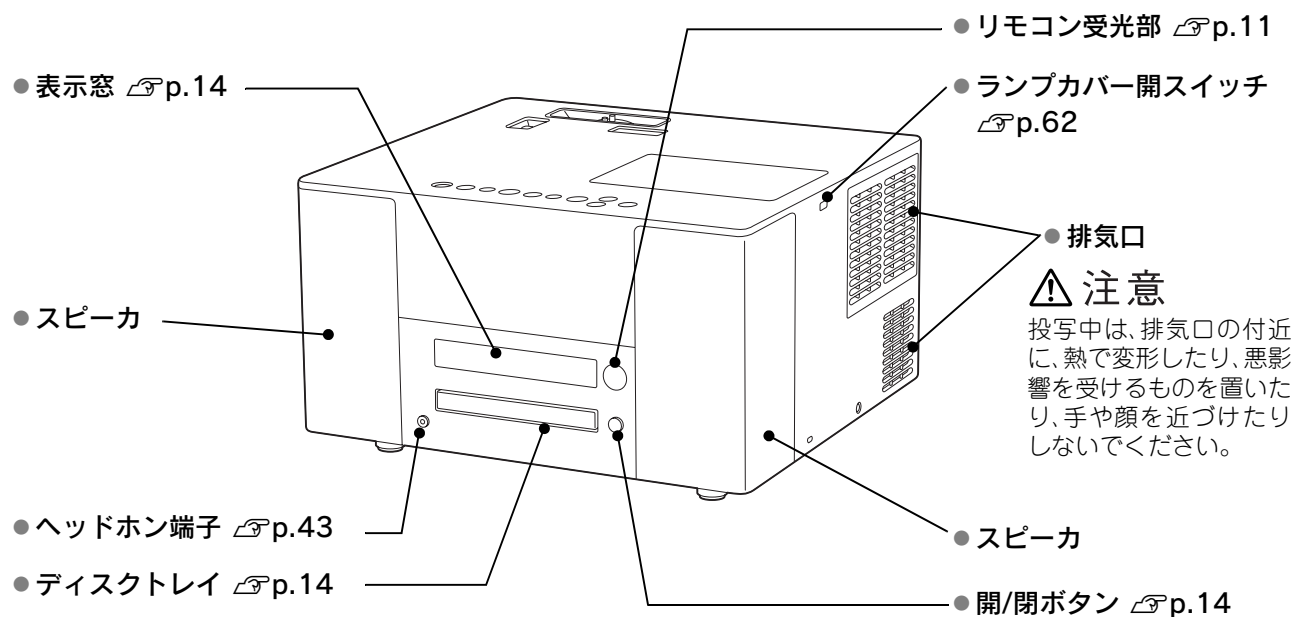
- 再生面を手で触れないでください。
- 保管時は、必ずケースに入れてください。
- 保管場所は、直射日光の当たる場所や湿度の高い場所を避けてください。
- ディスクの再生面が指紋やホコリで汚れていると、映像の乱れや音質低下の原因となります。再生面の汚れは、乾いた柔らかい布でディスクの中心から外側に向けて軽く拭いてください。

- アナログレコード用のクリーナやベンジン、静電気防止剤などは使用しないでください。
- ディスクに紙やシールを貼らないでください。

各部の名称

前面

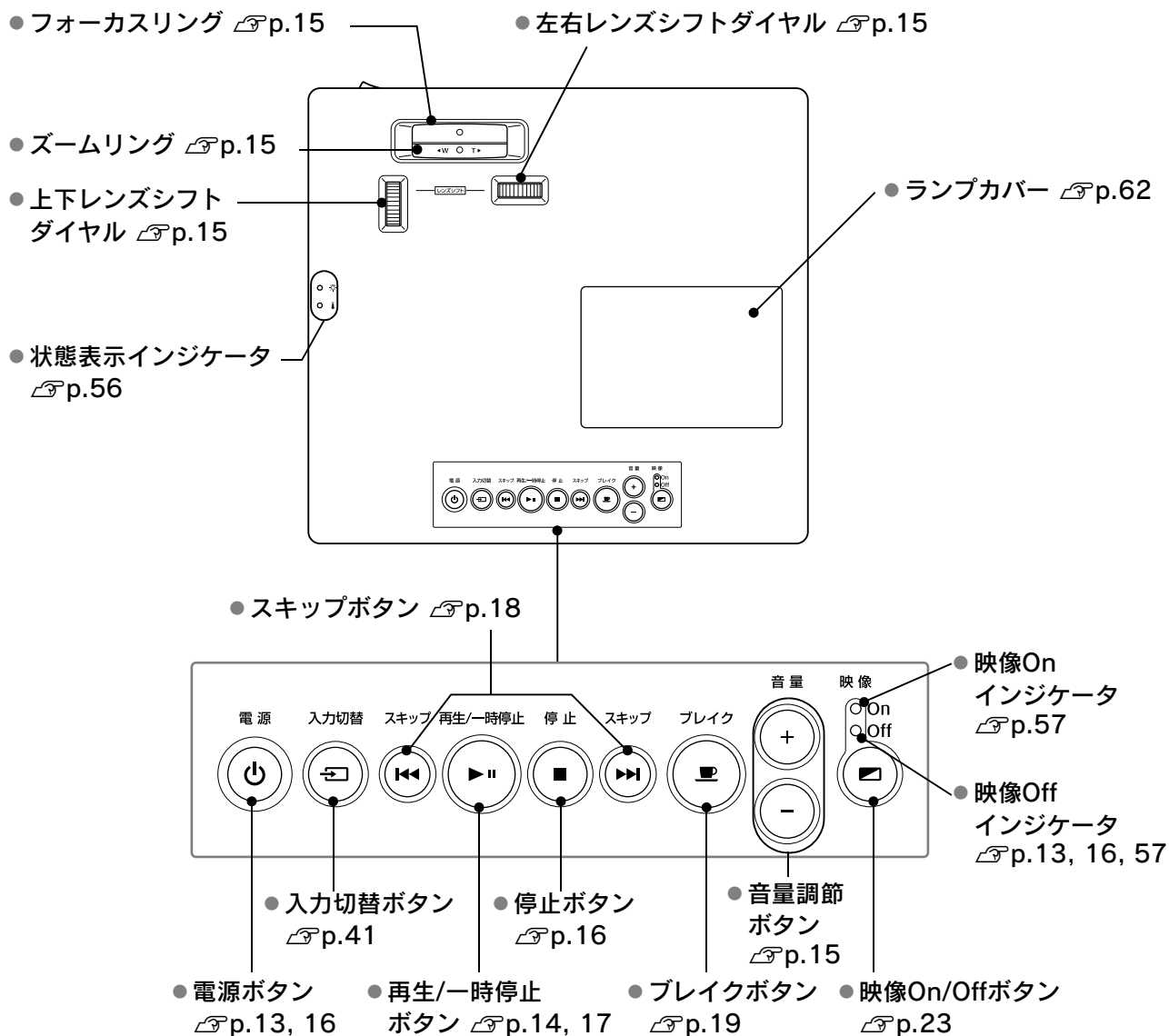
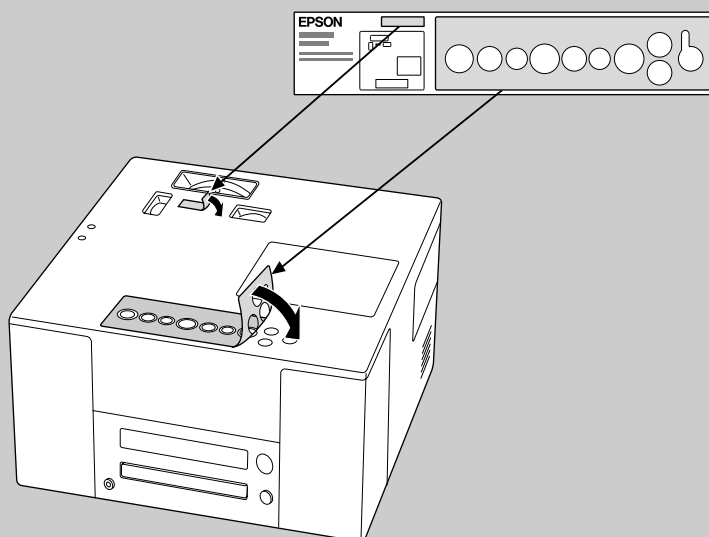
● [Subwoofer]出力端子 ☞p.44
● [S-Video]入力端子 ☞p.40
● [Audio]入力端子 ☞p.39,40
● リモコン受光部 ☞p.11
インターフェイスカバーの開け方
ここを押すと開きます
● [Video]入力端子 ☞p.39
● [Optical Audio-Out]端子 ☞p.44
● 投写レンズ
● [Computer]入力端子 ☞p.40,41
インターフェイスカバーの開け方
● 吸気口 ☞p.60
● 主電源スイッチ ☞p.13
● 電源端子 ☞p.13
● レンズカバー ☞p.13

背面

● 表示窓 ☞p.14
● スピーカ
● ヘッドホン端子 ☞p.43
● ディスクトレイ ☞p.14
● リモコン受光部 ☞p.11
● ランプカバー開スイッチ ☞p.62
● 排気口
⚠ 注意
投写中は、排気口の付近に、熱で変形したり、悪影響を受けるものを置いたり、手や顔を近づけたりしないでください。
● スピーカ
● 開/閉ボタン ☞p.14

天面

本製品には、「日本語シール」が同梱されています。本書でのボタン名称は、シールが貼られていることを前提に記載しています。

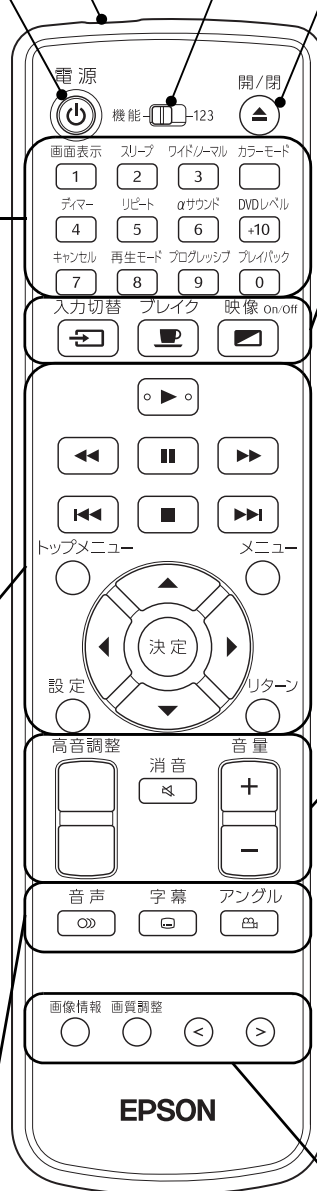
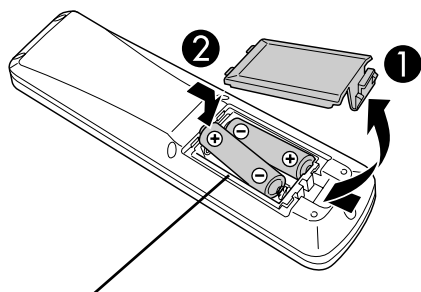
- フォーカスリング ☞p.15
- 左右レンズシフトダイヤル ☞p.15
- ズームリング ☞p.15
- 上下レンズシフトダイヤル ☞p.15
- ランプカバー ☞p.62
- 状態表示インジケータ ☞p.56
- スキップボタン ☞p.18
- 映像On インジケータ ☞p.57
- 映像Off インジケータ ☞p.13, 16, 57
- 入力切替ボタン ☞p.41
- 停止ボタン ☞p.16
- 音量調節ボタン ☞p.15
- 電源ボタン ☞p.13, 16
- 再生/一時停止ボタン ☞p.14, 17
- ブレイクボタン ☞p.19
- 映像On/Offボタン ☞p.23

電源　入力切替　スキップ　再生/一時停止　停止　スキップ　ブレイク　音量　映像　On　Off

日本語シールの貼り方

リモコン

● リモコン発光部
● 機能/数字 切替スイッチ p.17, 21
電源 p.16
開/閉 p.14
便利な機能
画面表示 1 p.34
スリープ 2 p.35
ワイド/ノーマル 3 p.59
カラーモード p.19
ディマー 4 p.20
リピート 5 p.28
αサウンド 6 p.45
DVDレベル +10 p.46, 47
キャンセル 7 p.53, 54
再生モード 8 p.30, 31
プログレッシブ 9 p.36
プレイバック 0 p.18
お役立ち機能
入力切替 p.41
ブレイク p.19
映像On/Off p.23
再生時に使うボタン
p.14, 16
p.17, 18
p.17
p.17
p.18
p.18
p.16
トップメニュー p.21, 22
メニュー p.21, 22
設定 p.48
リターン p.22, 48
決定 p.21
p.21
音の調節時に使うボタン
高音調整 p.45
音量 p.15
消音 p.19
DVDビデオの調節時に使うボタン
音声 p.32
字幕 p.33
アングル p.33
投写状態の調節や確認時に使うボタン
画像情報 p.54
画質調整 p.53
p.53, 54
電源
機能
123
開/閉
画面表示
スリープ
ワイド/ノーマル
カラーモード
ディマー
リピート
αサウンド
DVDレベル
キャンセル
再生モード
プログレッシブ
プレイバック
入力切替
ブレイク
映像 On/Off
トップメニュー
メニュー
決定
設定
リターン
高音調整
消音
音量
音声
字幕
アングル
画像情報
画質調整
EPSON

リモコンの準備

乾電池のセット

⚠注意

電池ホルダ内の表示を確認し、(+)(−)を正しく入れてください。

お買い上げ時は、リモコンに電池はセットされていません。
同梱の乾電池をセットしてからお使いください。

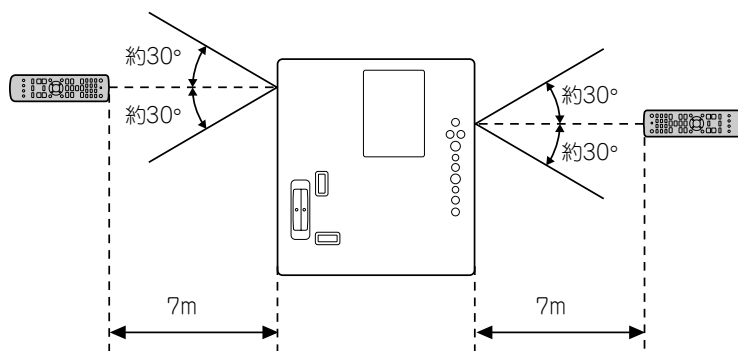
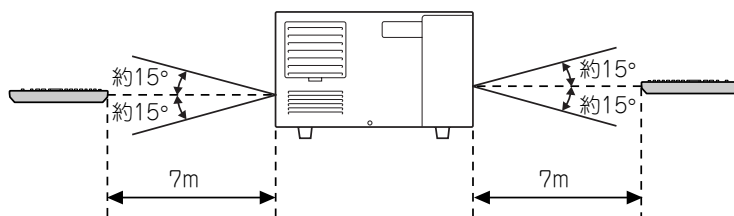
❶ **裏ブタのタブを押したまま、持ち上げます。**

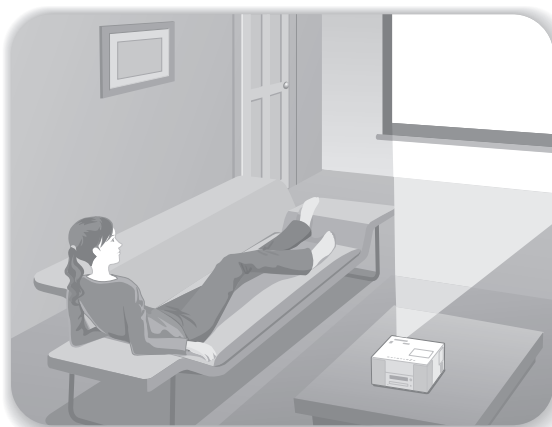
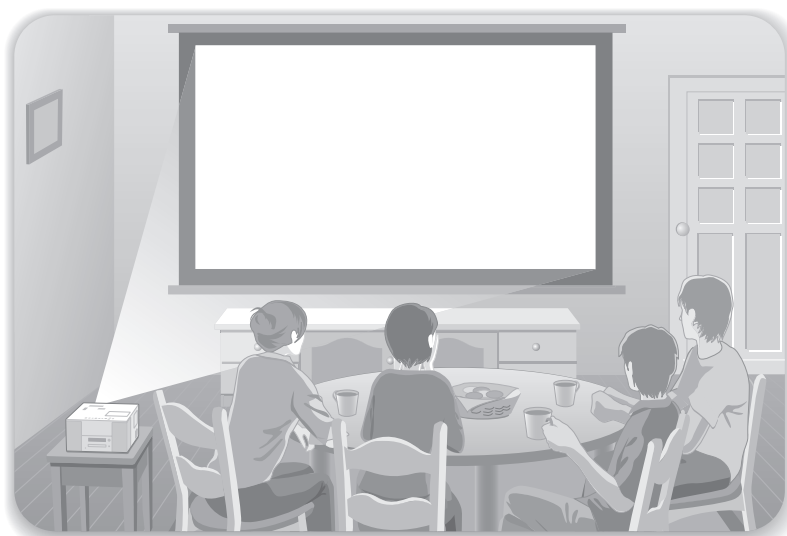
❷ **乾電池を正しい向きで入れます。**

❸ **フタを閉めます。**

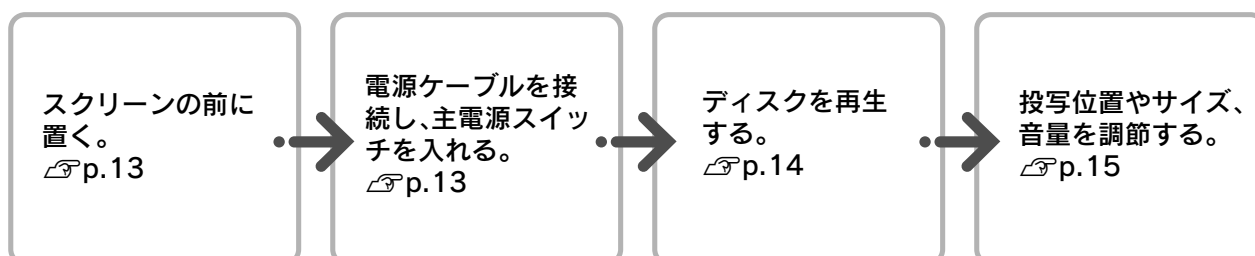
使い続けているうちにリモコンの反応が遅くなったり、操作ができなくなった場合は、電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池は単3形の乾電池を2本用意してください。

リモコンの使用範囲

操作可能範囲(左右)

操作可能範囲(上下)

本機のリモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光が直接あたらないようにしてください。リモコンからの信号を受信できないことがあります。

すぐ観たいとき

再生の手順

面倒な配線作業は不要です。テレビの種類選択や、入力切替などの操作も不要です。
次の4ステップで簡単に大画面でDVDを鑑賞できます。
αサウンド対応スピーカが内蔵されているので、自然で心地よい音で音楽鑑賞もできます。

1		2		3		4
スクリーンの前に置く。 ☞p.13	→	**電源ケーブルを接続し、主電源スイッチを入れる。** ☞p.13	→	**ディスクを再生する。** ☞p.14	→	**投写位置やサイズ、音量を調節する。** ☞p.15

設置

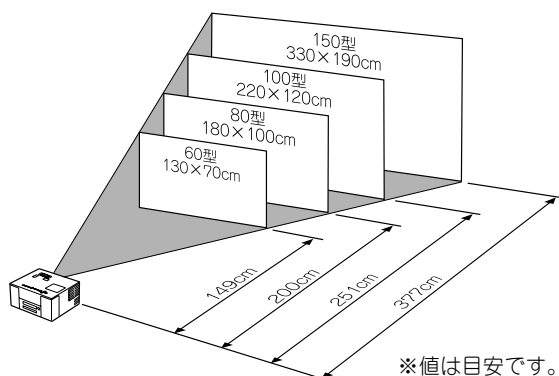
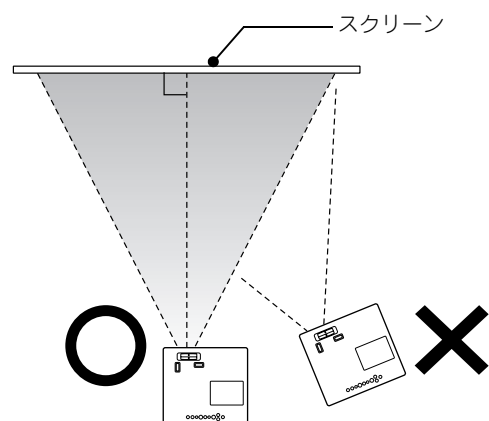
スクリーンサイズとスクリーンまでの距離

❶ スクリーンに映像が最適な大きさで映るように設置してください。

本機をスクリーンから離すほど、投写画面は大きくなります。

投写距離の詳細値☞p.65

レンズシフトダイヤルで映像の投写位置を上下左右に調整できます。☞p.15

※値は目安です。

❷ 本機をスクリーンに対して平行になるように設置してください。

スクリーンに対して本機が斜めになっていると、投写画面が台形状にゆがみます。

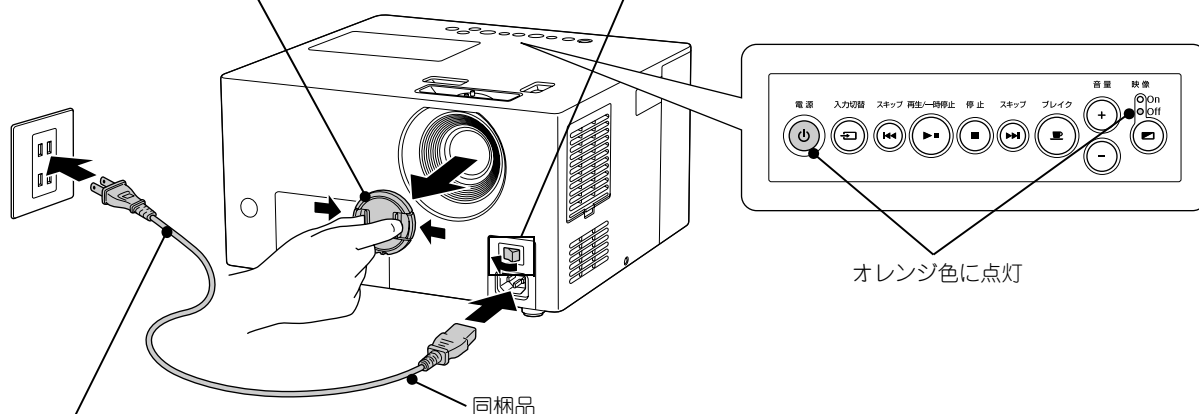
電源ケーブルの接続と主電源スイッチON

❶ レンズカバーを付けている場合は、外します。

お買い上げ時は、レンズにレンズカバーは付いていません。

❷ 電源ケーブルを接続します。

❸ 主電源スイッチを入れます。

⏻と映像Offインジケータがオレンジ色に点灯します。

ディスクの再生

ディスクを再生し投写する

❶ (⏏)を押してディスクトレイを開けます。

「ピッ」と鳴り、電源が入ります。
リモコンの(⏏)でも同様の操作ができます。

❷ ディスクのラベル面を上に向けて、ディスクトレイに置きます。

８ｃｍディスクの場合は、ディスクトレイのくぼみに入れます。

❸ (⏏)を押してディスクトレイを閉めます。

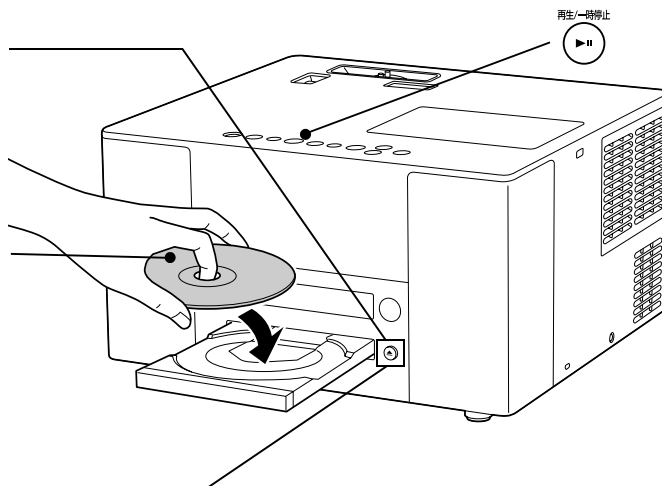
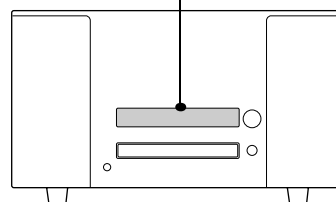
セットしたディスクの種類により、次のように動作します。

オーディオCD 以外：自動的に投写ランプが点灯し、投写が始まります。ランプが点灯してから映像がしっかり映るまでには、数秒かかります。

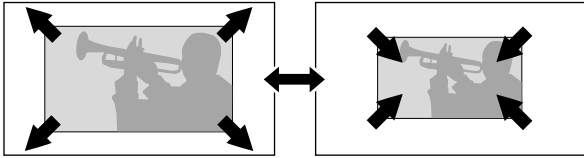
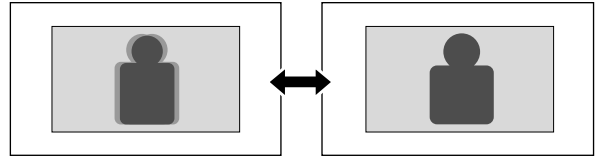
オーディオCD：(再生/一時停止 ►II)を押すと音の再生が始まります。投写ランプは点灯しません。
リモコンの(►)でも同様の操作ができます。

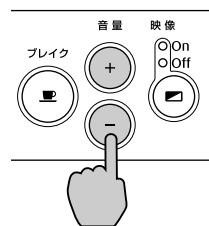
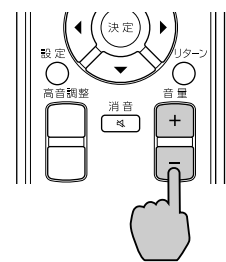
メニューが表示された場合

DVDビデオ ☞p.21
ビデオCD SVCD ☞p.22
MP3/WMA JPEG ☞p.23

ポイント
標高が約1500m以上の地域で使う場合は、「高地モード」を「オン」に設定してください。☞p.55

投写位置や音量の調節

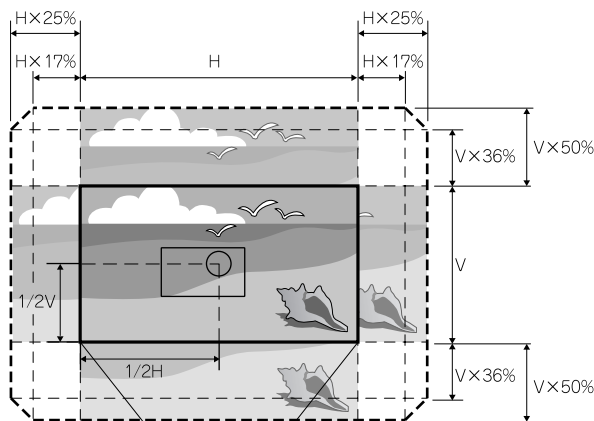
投写された映像や音量を調節します。

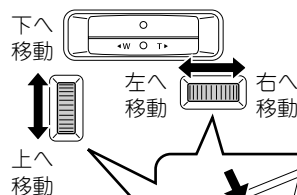
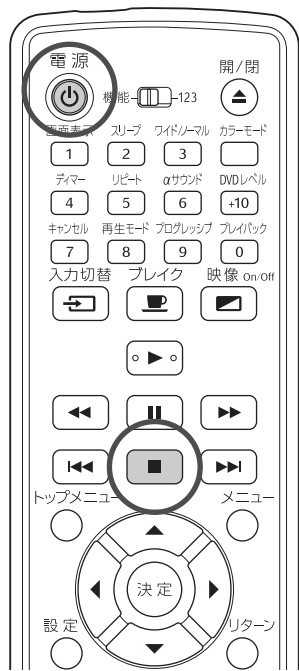
投写画面サイズを調節する（ズームリング）

ピントを合わせる（フォーカスリング）

音量を調節する（ボリューム）

本体の場合

リモコンの場合

画面位置を調節する（レンズシフト）

レンズシフトで投写画面の位置を上下左右に移動できます。移動範囲は右図のとおりです。

基準投写位置（レンズシフト位置中心時）

基準投写位置から調整可能な画面シフト範囲

※画面を上下と左右の両方とも最大までシフトすることはできません。
例）画面を左右のどちらかに最大までシフトしたときは、上下のシフト範囲は画面高さの36％までとなります。
画面を上下のどちらかに最大までシフトしたときは、左右のシフト範囲は画面横幅の17％までとなります。

※レンズシフトダイヤルを水平、垂直とも中央に合わせたときがもっとも鮮明な映像となります。

再生を止める

DVD ビデオ / ビデオ CD / SVCD / オーディオ CD / MP3/ WMA / JPEG

[■]を押します。

DVDビデオ ビデオCD SVCD は停止した後、[▶]を押すと停止した場面から再生を再開します(リジューム再生)。

リジューム再生時の留意点

- ⏻を押して電源を切っても[▶]を押すとリジューム再生します。
- 次の操作を行うと、リジュームは解除されます。
  ・ディスクトレイからディスクを取り出す。
  ・⏻を押して電源を切った後、⏻を押して電源を入れる。
  ・[■]を2回押す。
  ・主電源スイッチを切る。
- プログラム再生時やランダム再生時は、リジューム再生はできません。
- 再生を再開する位置が、停止した位置と少し異なることがあります。
- 停止位置と一緒に音声言語、字幕言語、アングルの設定も記憶されます。
- ディスクのメニューが表示されているときに停止した場合は、リジューム再生できないことがあります。

電源を切る

1. **ディスクをディスクトレイから取り出します。**
2. **⏻を押します。**
3. **ランプが点灯していた場合は、ランプが消え、本体の映像Offインジケータがオレンジ点滅します(クールダウン中)。**

   表示窓には「Now Cooling」と表示されます。
4. **「ピッ、ピッ」とブザーが鳴ったらクールダウンは終了です。主電源スイッチを切ります。**

   ⏻を押して電源を切っただけでは、電力を消費しています。
5. **レンズカバーを取り付けます。**

   レンズにホコリや汚れがつかないように、使わないときはレンズカバーをつけておきます。

映像 Off インジケータがオレンジ点滅している間は、内部でランプを冷やす作業(クールダウン)をしています。クールダウン中(約 9 秒間)は、リモコンや本体のボタン操作は無効となります。

注意

クールダウン中は、主電源スイッチを切ったり、電源ケーブルを抜いたりしないでください。ランプの早期劣化の原因となります。

再生中の基本操作

以降は、おもにリモコンのボタンを使って説明します。本体に同じマークのボタンがある場合は、本体のボタンでも同様に操作できます。

静止する(一時停止)

再生中に、[❚❚]を押します。

- 本体の場合は[再生/一時停止]を押します。
- 再生に戻るには[▶]を押します。
- 本体の[再生/一時停止]は、押すたびに再生 / 一時停止を繰り返します。

JPEG のスライドショー再生中に一時停止をする場合は、次の点にご留意ください。

・一時停止後[▶]を押すと、次のファイルの先頭から再生を開始します。

・本体の[再生/一時停止]では一時停止できません。

早戻し/早送り

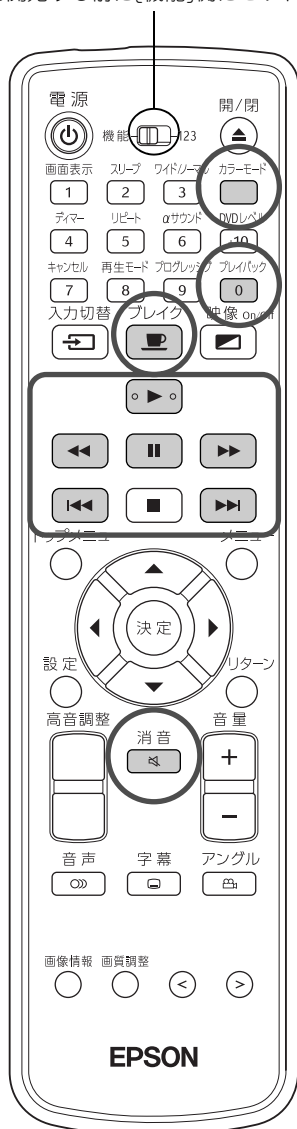
DVD ビデオ　ビデオ CD　SVCD　オーディオ CD

再生中に[◀◀]、または[▶▶]を押します。

- 戻し / 送りスピードは 5 段階あり、ボタンを押すたびに変わります。
- 通常の再生に戻るには[▶]を押します。
- 本体の場合は、[スキップ ⏮]、または[スキップ ⏭]を押し続けます。[スキップ ⏮]、または[スキップ ⏭]を押し続けると、戻し/送りスピードが5倍速から20倍速に変わります。

DVDビデオ ビデオCD SVCD で早送り / 早戻し中は、音声は出ません。

オーディオCD で早送り / 早戻し中は断続的に音声が出ます。

操作を開始する前に[機能]側にセットします

約10秒前から再生し直す

再生中に プレイバック 0 を押します。

- ディスクによっては、この操作ができないものもあります。
- 1つ前のタイトルには戻りません。

頭出しする（スキップ）

再生中に ⏮ 、または ⏭ を押します。

チャプター/トラックの再生途中で ⏮ を1回押すと、再生中のチャプター/トラックの先頭に戻ります。先頭に戻ったときに ⏮ を押すと1つ前のチャプター/トラックの先頭に戻ります（JPEG 除く）。以降、⏮ を押すたびに1つ前のチャプター/トラックの先頭に戻ります。

- DVDビデオ は再生中に限りスキップができます。
- ビデオCD SVCD をPBC機能オフで再生中に限りスキップができます。
- JPEG は再生中に ▼ ▲ を押しても頭出しができます。
- ディスクによっては、操作できないこともあります。

コマ送りする

一時停止中に ⏸ を押します。

- ⏸ を押すたびに、1コマずつ進みます。本機には、コマ戻しの機能はありません。
- 通常の再生に戻るには ▶ を押します。

スローモーション再生

❶ **スローモーション再生を始めたいところで、[⏸]を押して一時停止します。**

❷ **[▶▶]を押します。**

- 再生スピードは5段階あり、[▶▶]を押すたびに変わります。
- DVDビデオ の場合は、[◀◀]を押してスローモーション戻しを行えます。戻しスピードは5段階あり、[◀◀]を押すたびに変わります。
- 通常の再生に戻るには[▶]を押します。
- スローモーション再生中は、音声は出ません。

一時的に投写光を照明として使う(ブレイク)

映画を観ている途中で、ちょっと飲み物を持ちに立ちたいときなどは、ブレイク機能を使うと便利です。再生中のディスクを一時停止し、立ち上がって部屋の照明をつけるまでを[ブレイク]を押すだけでできます。

再生中に[ブレイク]を押します。

- 投写ランプはついたままで、投写映像が消えます。画面右下に☕が表示されたり、消えたりします。
- ブレイクにしたまま、約5分間何も操作せずに放置するとランプが暗くなります。さらに約30分経過すると、本機の電源が自動的にオフになります。
- ブレイクを実行する前の状態に戻すには[ブレイク]を押します。電源がオフになっている場合は、[⏻]を押して電源を入れ直してください。

- ディスクのメニューが表示されているときは、操作できません。
- 次のいずれかのボタン操作を行った場合も、ブレイクは解除され操作したボタンの機能が働きます。

お部屋の状況に合わせて画質を選ぶ(カラーモード)

お部屋の明るさなどに応じて、最適な画質を選ぶことができます。

❶ **[カラーモード]を押します。**

画面に現在のカラーモード名が表示されます。

ダイナミック

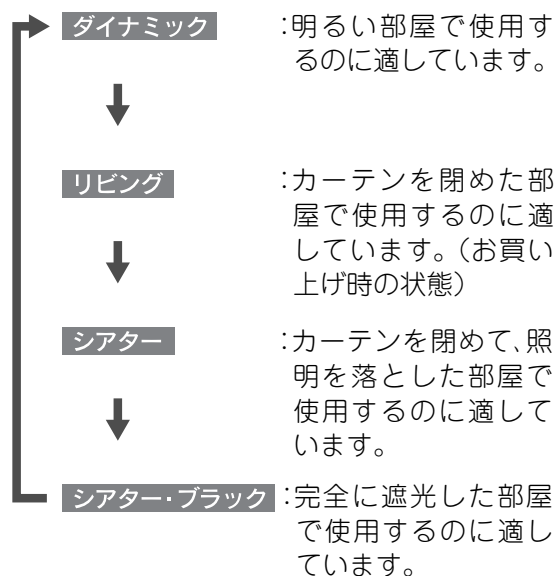
❷ **カラーモード名が表示されている間に繰り返し[カラーモード]を押して、目的のカラーモード名を表示させます。**

数秒待つとカラーモード名が消えて画質が切り替わります。

ダイナミック :明るい部屋で使用するのに適しています。

リビング :カーテンを閉めた部屋で使用するのに適しています。(お買い上げ時の状態)

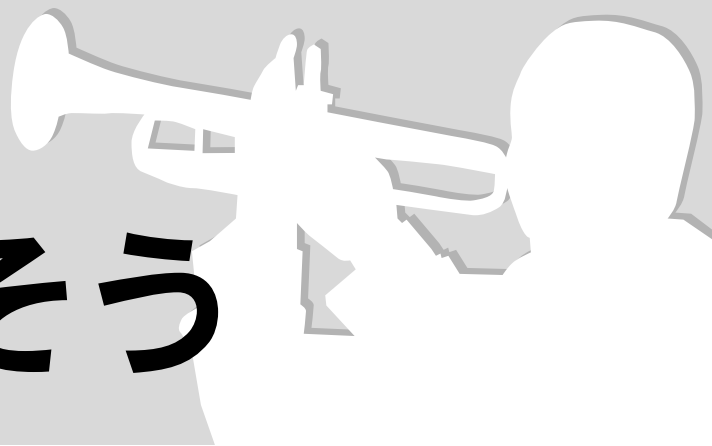
シアター :カーテンを閉めて、照明を落とした部屋で使用するのに適しています。

シアター・ブラック :完全に遮光した部屋で使用するのに適しています。

- シアターとシアター･ブラックを選ぶと、自動的にエプソンシネマフィルタが作動し、映像全体がしまり人物の肌の色もより自然な色合いになります。

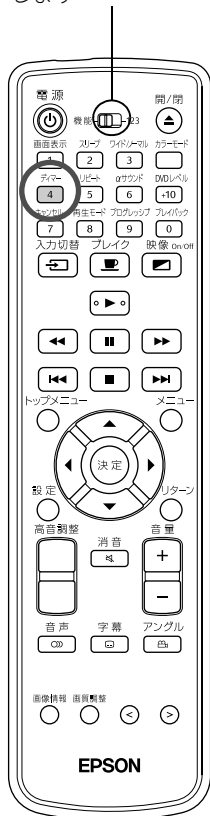
音声を一時的に止める(消音)

再生中に[消音]を押します。

- スピーカ、ヘッドホン、サブウーファーから音が出なくなります。
- 通常の再生に戻るには[消音]を押します。本機の電源を入れ直したときも、元の音量に戻ります。

もっと使いこなそう

再生の達人になる

表示窓の明るさを変更する（ディマー）

操作を開始する前に［機能］側にセットします

ディマー［4］を押します。

ディマー［4］を押すたびに表示窓の表示が次のように切り替わり、表示窓と本体ボタン部分のインジケータの明るさが変わります。

DIMMER OFF　:明るさを明るくします。
↓
DIMMER ON　:明るさが暗くなります。
↓
DIMMER AUTO　:再生中は暗くなり、停止や一時停止にすると明るくなります。

- オーディオCD がセットされているときは、「DIMMER　AUTO」に設定していても有効になりません。「DIMMER OFF」に切り替わります。
- スタンバイ状態では、ディマー［4］を押しても明るさの切り替えはできません。
- 変更した明るさは、主電源スイッチを切っても記憶されます。

DVDのメニューから再生する

DVDビデオ には、次のような独自のメニューが記録されているものがあります。

- **トップメニュー：**複数のタイトル（映像や曲）が記録されている場合に、ディスクの総合情報が表示されます。
- **メニュー：**タイトル固有の再生データ（チャプターメニュー、アングルメニュー、音声メニュー、字幕メニュー）が表示されます。

1 **停止中、または再生中に トップメニュー 、または メニュー を押します。**

2 **を押して、観たい項目を選びます。**

数字ボタンを使って、直接タイトル番号やチャプター番号を選択することもできます。

数字ボタンを使うとき

機能/数字切替スイッチを［123］側に切り替えてから、次のボタンを押します。

例） 5：5　　10：+10 → 0

15：+10 → 5　　20：+10 → +10 → 0

25：+10 → +10 → 5

数字ボタンでの入力が終わったら、機能/数字切替スイッチを［機能］側に戻します。

3 **決定 を押します。**

ポイント

- ディスクによっては、メニューが記録されていないものがあります。メニューが記録されていない場合は、操作できません。
- ディスクによっては、決定を押さなくても再生が始まるものもあります。

もっと使いこなそう

PBC（プレイバックコントロール）再生

ディスクやジャケットに、「PBC（プレイバックコントロール）付き」と表記されているビデオCDをディスクトレイにセットすると、メニュー画面が投写されます。そのメニューから観たいシーンや情報を対話形式で選択できます。

1 PBC付きビデオCDを再生すると、次のようなメニュー画面が表示されます。

2 数字ボタンを使って、観たい項目を選びます。 ☞p.21

選択した内容が再生されます。

メニュー画面を次ページ/前ページにめくるには
メニュー画面表示中に[⏭]/[⏮]を押します。

再生中にメニュー画面を呼び出すには
再生中に（リターン）を押すと、1つ上の階層に戻ります。メニューが表示されるまで（リターン）を繰り返し押します。

メニューを使わずに再生する（PBCを解除して再生する）には
次のいずれかの方法で再生します。

- 停止中に観たいトラックの番号を数字ボタンで指定する。
- 停止中に[⏭]/[⏮]でトラック番号を選択し、[▶]を押す。

PBCを解除して再生中にメニュー画面を呼び出すには
（トップメニュー）、または（メニュー）を押す。

[■]を2回押して再生を停止後、[▶]を押します。

MP3/WMA・JPEGの再生

操作を開始する前に［機能］側にセットします

1 MP3/WMAファイル、JPEGファイルが記録されているディスクを再生すると、次のようなグループ・トラック（ファイル）名リストが表示されます。

2 ▼ ▲を押してグループを選択します。

3 ▶を押すとトラック（ファイル）名リストにポインタが移動します。◀を押すとグループ名リストにポインタが戻ります。

4 ▼ ▲を押してトラックを選択します。

⏮ ⏭でも、同様に選択できます。

5 ▶、または決定を押して再生を行います。

JPEG は▶を押すと、選んだファイルから連続して再生（スライドショー再生※）します。決定を押すと、選んだファイルだけを再生します。

※ スライドショー再生時は、1つのファイルを約3秒間表示すると次のファイルに切り替わります。すべてのファイルを表示し終わると、自動的に停止します。

- トラックの選択は、数字ボタンでトラック番号を押して選択することもできます。その場合、手順3〜5は不要です。

ポイント

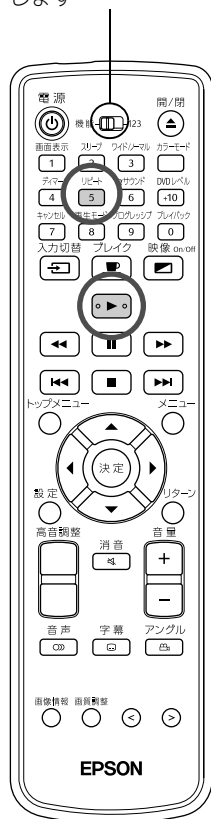
異なったタイプのファイル（MP3/WMA ファイルとJPEG ファイル）が混在して記録されているディスクを再生する場合は、映像設定メニューの「ファイルタイプ」で再生するファイルタイプを選択してください。p.49

MP3/WMAで音楽を再生している場合(映像オフ)

メニューの選択が終わり、音楽が流れてきたら映像On/Offを押しましょう。「ピッ」とブザーが鳴り、投写ランプが消えて流れてくる音楽だけを楽しめます。
ランプを点灯させるには映像On/Offを押します。ランプ消灯後、映像Offインジケータがオレンジ色で点滅している間は、映像On/Offを押してもランプは点灯しません。映像Offインジケータが消えるまで、しばらくお待ちください。

もっと使いこなそう

"MP3/WMA・JPEGの再生"つづく

操作を開始する前に[機能]側にセットします

リピート再生したいとき

1 停止中、または再生中に［リピート 5］を押します。

［リピート 5］を押すたびにリピートの種類が、下表のように切り替わります。

2 ［▶］を押します。

リピート再生位置

リピートの種類	ディスク				画面表示	表示窓の表示
	グループ1		グループ2			
	トラック1	トラック2	トラックA	トラックB		
トラックリピート※					REPEAT TRACK	1
グループリピート					REPEAT GROUP	
ディスクリピート					REPEAT ALL	ALL
リピートOFF					表示なし	表示なし

※MP3/WMAファイルのみ。

MP3/WMAファイルが記録されているディスクの場合は、プログラム再生、ランダム再生の状態でもリピート再生することができます。

リピートの種類	画面表示	表示窓の表示
リピート再生指定時に位置したトラックをリピート	REPEAT STEP	1
プログラム再生で予約した全トラック、またはランダム再生の全トラックをリピート	REPEAT ALL	ALL
リピートOFF	表示なし	表示なし

再生時の留意点

- ディスクの記録状態や特性により、再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。
- ディスクに記録されているグループやトラック(ファイル)の数により、読み取り時間が異なります。
- グループ·トラック(ファイル)名リストに表示される順番とパソコンの画面に表示される順番が異なることがあります。
- 市販の MP3 ディスクを再生した場合、ディスクに記載されている順番と異なる順番で再生されることがあります。
- 静止画データの入った MP3 ファイルは、再生に時間がかかることがあります。再生が始まるまで経過時間は表示されません。また、再生が始まっても正確な経過時間が表示されないことがあります。
- パソコンの画像編集ソフトなどで加工·編集·再保存したデータは再生できないことがあります。

再生できるファイルの仕様

本機でMP3/WMA・JPEGが記録されたCD-R、CD-RWを再生する場合、次の内容に準拠しているものに限り再生できます。

MP3/WMA

ファイルシステム：ISO9660 レベル1、またはレベル2
パケットライト形式（UDF）で記録したディスクは再生できません。

ビットレート：MP3：32kbps～320kbps
WMA：64kbps～160kbps

サンプリング周波数：16kHz、22.05kHz、24kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz

ファイル名：半角英数字のみ。末尾に拡張子「.mp3」、または「.wma」がついていること。大文字、小文字の組み合わせは問いません。

グループ（フォルダ）総数：99まで

トラック（ファイル）総数：1000まで

その他：マルチセッションで記録されたディスクも再生可能です。
WMA：マルチプル・ビットレート（1つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録した音声を含む形式）の再生には対応していません。

JPEG

ファイルシステム：ISO9660 レベル1、またはレベル2
パケットライト形式（UDF）で記録したディスクは再生できません。

ファイル名：半角英数字のみ。末尾に拡張子「.jpg」、または「.jpeg」がついていること。大文字、小文字の組み合わせは問いません。

総画素数：8192×7680ピクセルまでであれば再生できます。
ただし、640×480ピクセルを超える解像度のファイルは、画像の再生に時間がかかりますので、640×480ピクセルで記録することをお奨めします。

グループ（フォルダ）総数：99まで

トラック（ファイル）総数：1000まで

その他：マルチセッションで記録されたディスクも再生可能です。
ベースラインJPEGにのみ対応しています。
モノクロのJPEGファイルは再生できません。
プログレッシブJPEGやモーションJPEGには対応していません。
DCF（Design rule for Camera File system）規格準拠のデジタルカメラで撮影したJPEGデータに対応しています。デジタルカメラの自動回転機能などを使用した場合、DCF規格に当てはまらないデータとなることがあります。この場合は再生されないことがあります。

チャプター/トラック番号を指定して再生するところを選ぶ

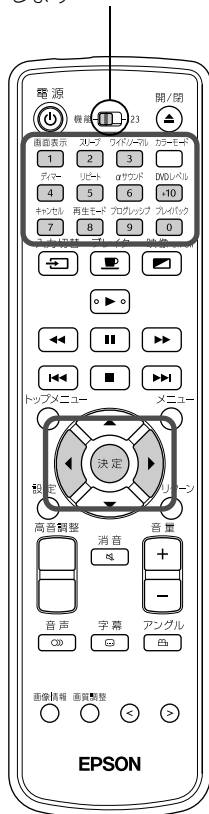
再生中に数字ボタンを押して、再生したいチャプター/トラック番号を指定します。

☞「数字ボタンを使うとき」p. 21

- ビデオCD SVCD は停止中、または PBC オフで再生中に操作できます。
- オーディオCD MP3/WMA JPEG は、停止中も操作できます。
- ディスクによっては操作ができないこともあります。

時間を指定して再生する（タイムサーチ）

DVDビデオ

操作を開始する前に［機能］側にセットします

指定した時間の位置から再生できます。ディスクにより、次のように頭出しの位置が異なります。

DVDビデオ は、タイトルの先頭からの経過時間

ビデオCD SVCD オーディオCD を停止中に実行したとき：ディスクの先頭からの経過時間

再生中に実行したとき：現在、再生中のトラックの先頭からの経過時間

1 **再生中、または停止中に、画面表示 1 を2回押します。**

次のメニューバーが投写されます。

ステータスバー

メニューバー

- DVDビデオ は再生中に限り、この機能を実行できます。
- ビデオCD SVCD を PBC 機能を使って再生しているときは、実行できません。

2 **を押して、にポインタを合わせます。**

3 **決定 を押します。**

4 **数字ボタンで時間を入力します。**

- DVDビデオ は、時間/分/秒で頭出し位置を指定します。分/秒は省略できます。
- ビデオCD SVCD オーディオCD は、分/秒で頭出し位置を指定します。

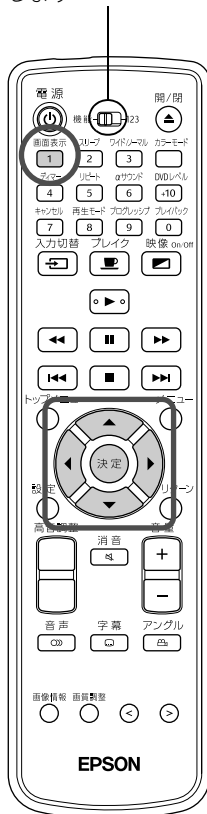
> **時間を入力するには**
> **例）** 0時間23分45秒の位置から再生するには
> 機能/数字切替スイッチを［123］側に切り替えます。
> 0 → 2 → 3 → 4 → 5 の順で数字ボタンを押します。
>
> 入力間違いをした場合は、を押して間違った数字を消去し、正しい番号を入力し直します。
>
> 時間の入力が終わったら、機能/数字切替スイッチを［機能］側に戻します。

5 **決定 を押します。**

6 を1回押すと、メニューバーが消えます。

ポイント
- DVDビデオ で、再生中に表示窓に再生経過時間が表示されないものは、この機能は働きません。
- DVDビデオ では、タイムサーチが禁止されているものもあります。
- シネスコサイズ(レターボックス)の DVDビデオ 再生中はステータスバーは表示されません。そのままでも機能を設定できますが、ステータスバーが必要な場合は、ワイド/ノーマル 3 を押してアスペクトをノーマルに変更します。アスペクトを戻すときは ワイド/ノーマル 3 を押します。
- プログラム再生中・ランダム再生中は、この機能は働きません。

好きなところだけ繰り返し再生する(A-B間再生)

操作を開始する前に[機能]側にセットします

再生中に、メニューバーから再生する範囲(始点と終点)を指定します。

1 再生中に、画面表示 1 を2回押します。

次のメニューバーが投写されます。

- DVDビデオ は再生中に限り、この機能を実行できます。
- ビデオCD SVCD を PBC 機能を使って再生しているときは、実行できません。

2 ▶ ◀ を押して、OFF にポインタを合わせます。

3 決定 を押します。

4 ▼ ▲ を押して、A-B を選択します。

ここで、他のリピートモードを選ぶこともできます。他のリピートモードについて p.28

5 繰り返す範囲の始点のシーンや曲になったら 決定 を押します。

メニューバーのアイコンが A- になります。

6 繰り返す範囲の終点のシーンや曲になったら 決定 を押します。

メニューバーのアイコンが A-B になり、本体の表示窓に A-B が表示されます。以降、A-B間再生が開始されます。

もっと使いこなそう

"好きなところだけ繰り返し再生する(A-B間再生)"つづく

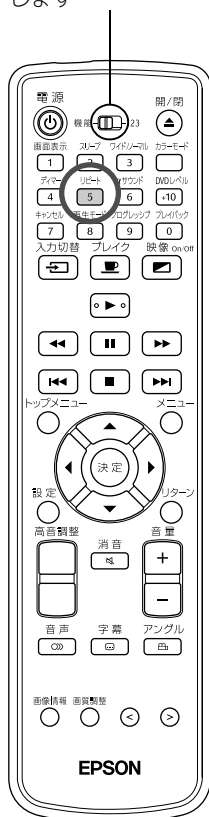
7 画面表示[1]を1回押すと、メニューバーが消えます。

A-B間再生を解除するときは
次のいずれかの操作を行います。

- メニューバーを表示し、A-B を選んで(決定)を２回押す。
- [■]を押す。
- 本機の主電源スイッチを切る。

- 複数のタイトル·トラックをまたぐ範囲指定はできません。
- 次のときは、「A-Bリピート」の設定はできません。
  ·プログラム再生中　　·ランダム再生中
  ·リピート再生中　　·PBC再生中
- シネスコサイズ(レターボックス)の DVDビデオ 再生中はステータスバーは表示されません。そのままでも機能を設定できますが、ステータスバーが必要な場合は、ワイド/ノーマル[3]を押してアスペクトをノーマルに変更します。アスペクトを戻すときは ワイド/ノーマル[3] を押します。

繰り返し再生する(リピート再生)

操作を開始する前に［機能］側にセットします

下表のように、ディスクの種類によりタイトル·チャプター·トラックの範囲内で繰り返し再生することができます。

再生中に、リピート[5]を押します。

リピート[5]を押すたびにリピートの種類が切り替わり、投写画面と表示窓にリピート名やアイコンが表示されます。

CHAP　　1

- DVDビデオ は再生中に限り、この機能を実行できます。
- ビデオCD SVCD をPBC機能を使って再生しているときは、実行できません。

DVDビデオ

リピート再生位置

リピートの種類	タイトル				画面表示	表示窓の表示
	チャプター1	チャプター2	チャプター3	チャプター4		
チャプターリピート					CHAP	1
タイトルリピート					TITLE	
リピートOFF					OFF	表示なし

オーディオCD ビデオCD SVCD

リピート再生位置

リピートの種類	トラック1	トラック2	トラック3	トラック4	画面表示	表示窓の表示
トラックリピート					TRACK	1
全トラックリピート					ALL	ALL
リピートOFF					OFF	表示なし

リピート再生を解除するには

- 画面に「OFF」と表示されるまで、リピート 5 を何度か押します。
- 本機の主電源スイッチを切る。

ポイント

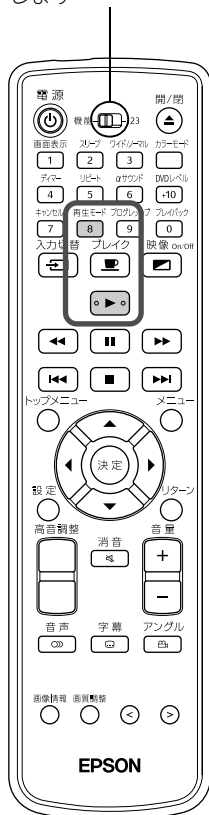
- DVDビデオ には、「タイトルリピート」ができないものがあります。
- DVDビデオ 時に、入力切替 を押すとリピートが解除されます。
- メニューバーを表示させ OFF にポインタを合わせて、リピート再生を選択･実行することもできます。p.34

プログラム再生･ランダム再生中に指定できるリピートの種類

リピートの種類	画面表示	表示窓の表示
リピート再生指定時に位置したチャプター/トラックをリピート	STEP	1
プログラム再生で予約した全トラック、またはランダム再生の全トラックをリピート	ALL	ALL
リピートOFF	OFF	表示なし

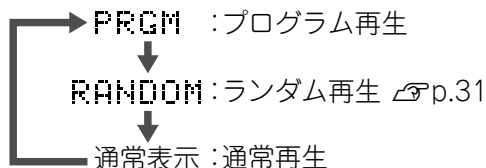
お好みの順番で再生する（プログラム再生）

DVD ビデオ　ビデオ CD　

操作を開始する前に［機能］側にセットします

タイトルやチャプター、トラックを好きな順番で予約して再生できます。

1 停止中に［再生モード 8］を押します。

［再生モード 8］を押すたびに、本体の表示窓の表示が次のように切り替わります。「PRGM」と表示されるまで繰り返し押します。

PRGM　：プログラム再生
↓
RANDOM：ランダム再生 p.31
↓
通常表示：通常再生

2 以降は画面の説明に従って順番を予約します。

「数字ボタンを使うとき」p. 21

3 ［▶］を押します。

- 予約した順番に従って、再生を開始します。
- 設定した予約をすべて再生し終わると、再生が停止し「プログラム」画面が表示されます。

プログラム画面で、最後から1つずつ予約を取り消すには

［キャンセル 7］を押すたびに、予約した番号が1つずつ消去されます。

プログラム画面で、設定した予約をすべて解除するには

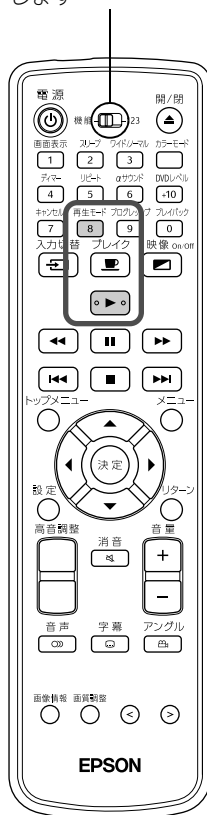
［■］を押します。
本機の電源を切った場合も、解除されます。

通常の再生に戻すには

停止中に、本体の表示窓が通常表示になるまで、［再生モード 8］を何度か押します。
この場合、プログラム画面で予約した内容は記憶されたまま残っています。再び、［再生モード 8］を押して、「PRGM」を選択するとプログラム再生を実行できます。

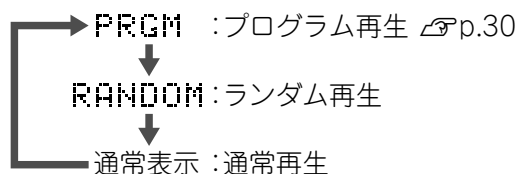
- 最大99個のタイトルやチャプター、トラックを予約できます。99を超えて予約しようとすると、「FULL」と表示されます。
- オーディオCD ビデオCD SVCD で予約した再生時間の合計が 9 時間59分59秒を超えると本体の表示窓に「--:--」と表示されますが、順番の予約はそのまま続けて行えます。
- DVDビデオ でチャプターやトラック番号を予約する代わりに［決定］を押すと、「ALL」と表示され、そのタイトル/グループに含まれる、すべてのチャプター/トラックが予約されます。
- プログラム再生中に停止した場合、リジューム再生はできません。
- ディスクによっては、プログラム再生できないものもあります。

順不同で再生する(ランダム再生)

操作を開始する前に[機能]側にセットします

本機が順不同でタイトルやチャプター/トラックを選んで再生します。再生する順番は、ランダム再生するたびに変わります。

1 停止中に［再生モード 8］を押します。

［再生モード 8］を押すたびに、表示窓の表示が次のように切り替わりますので、「RANDOM」が表示されるまで繰り返し押します。

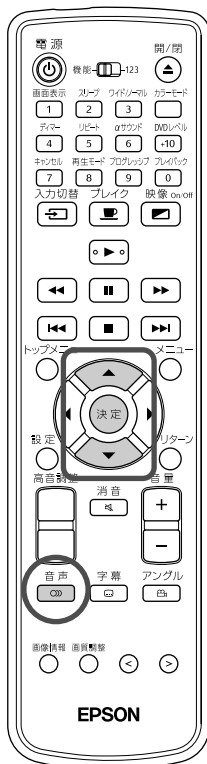
PRGM :プログラム再生 ☞p.30
↓
RANDOM :ランダム再生
↓
通常表示 :通常再生

2 ［▶］を押します。

1つのタイトル、またはトラックの再生が終わると、順不同で別のタイトル、トラックに切り替わります。

通常の再生に戻すには

停止中に、表示窓が通常表示されるまで、［再生モード 8］を何度か押します。

- 次の操作を行った場合も、ランダム再生は解除されます。
  ･ディスクトレイを開ける。
  ･本機の電源を切る。
- ランダム再生中は［⏮］を繰り返し押しても、前に再生した内容にはスキップしません。現在のチャプター/トラックの先頭に戻るだけです。
- ランダム再生中に停止した場合、リジューム再生はできません。

音声言語の切り替え

複数の音声方式や言語が記録されているディスクでは、その中からお好きな音声方式や言語に切り替えることができます。

1 **再生中に、[音声]を押します。**

現在の音声設定が表示されます。

2 **音声設定が表示されている間に繰り返し、[音声]を押して、希望する設定を選びます。**

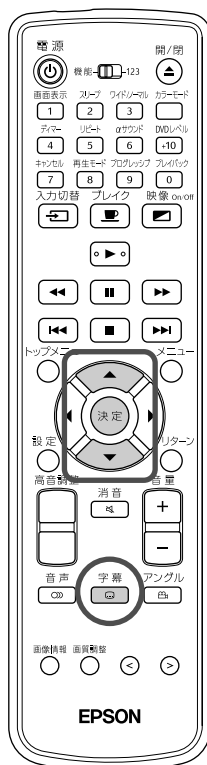
を押して切り替えることもできます。

3 **そのまま数秒間待つか、を押します。**

ポイント

- メニューバーを使って切り替えることもできます。p.34
- 言語コード（AAなど）が表示された場合 p.51
- ビデオCD SVCD 再生時に表示される文字の意味は次のとおりです。
  ･ST:ステレオ　･L:左の音声　･R:右の音声

字幕表示の切り替え

DVD ビデオ　SVCD

字幕が記録されているディスクでは、字幕の表示/非表示を切り替えることができます。複数の言語で字幕が記録されている場合は、その中からお好きな言語に切り替えることができます。

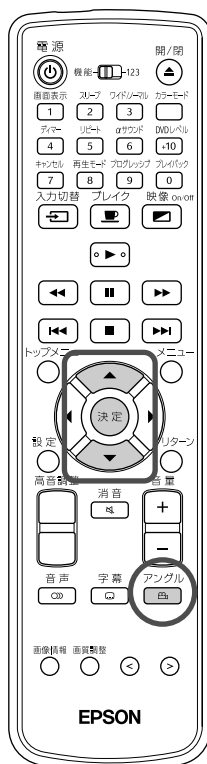
1 **再生中に、（字幕）を押します。**

現在の字幕設定が表示されます。

2 **字幕設定が表示されている間に繰り返し、（字幕）を押すと、字幕の表示/非表示を選べます。（▼）（▲）を押すと字幕の言語を選べます。**

SVCD は（字幕）を押すたびに、字幕の種類、表示/非表示を選べます。

3 **そのまま数秒間待つか、（決定）を押します。**

アングルを切り替える

複数のアングルが記録されているディスクでは再生中に、正面からの映像を上から、あるいは右からなどお好きなアングルに切り替えることができます。

1 **再生中に、（アングル）を押します。**

現在のアングルが表示されます。

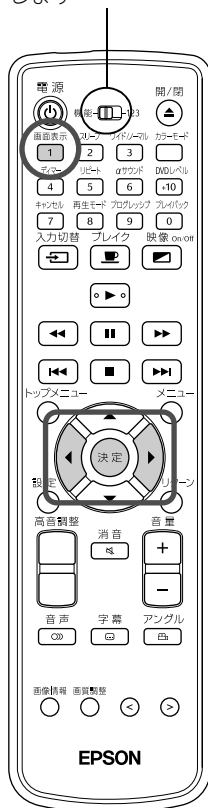
2 **アングルが表示されている間に繰り返し、（アングル）を押して、希望するアングルを選びます。**

（▼）（▲）を押して切り替えることもできます。

3 **そのまま数秒間待つか、（決定）を押します。**

メニューバーを使って操作する

DVDビデオ

操作を開始する前に[機能]側にセットします

1 **再生中に、**画面表示 1**を2回押します。**

次のステータスバーとメニューバーが投写されます。

DVD-VIDEO 6.2Mbps TITLE 1 CHAP 2 T.REM 1:33:06
TIME OFF CHAP. 1/2 --/-- 1/1

2 **を押して、操作したい項目にポインタを合わせます。**

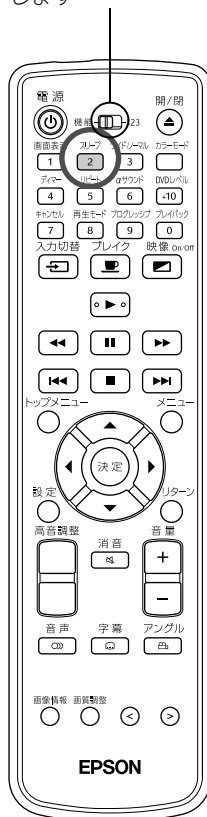
3 決定**を押します。**

- 画面表示 1を1回押すと、メニューバーが消えます。
- 停止中は操作できない機能もあります。
- シネスコサイズ(レターボックス)のDVDビデオ再生中はステータスバーは表示されません。そのままでも機能を設定できますが、ステータスバーが必要な場合は、ワイド/ノーマル 3を押してアスペクトをノーマルに変更します。アスペクトを戻すときはワイド/ノーマル 3を押します。

メニューバー機能一覧

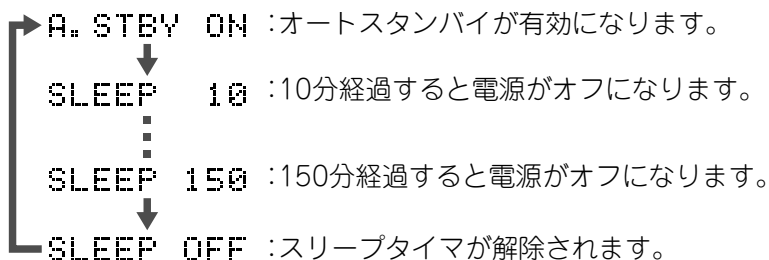
OFF	リピートの種類を選択します。 p.28,29
(時間)	時間を指定して頭出しをします。 p.26
CHAP.	DVDビデオのみ。 数字ボタンを使って、再生したいチャプター番号を指定します。 機能/数字切替スイッチを[123]側に切り替えてから、次のように番号を入力します。 **例)** 5: 5　10: 1 → 0　20: 2 → 0 入力間違いをした場合は、もう一度正しい番号を入力し直します。 決定を押します。
1/1	音声言語/種類を選択します。 p.32
1/ 1	字幕表示の切り替えを選択します。 p.33
1/1	アングルを選択します。 p.33

オートスタンバイ・おやすみタイマ（スリープタイマ）の設定

操作を開始する前に［機能］側にセットします

オートスタンバイ：再生を停止・終了した状態で、約3分間なにも操作をしないと、自動的に電源がオフになります。
スリープタイマ：設定した時間が経過すると自動的に電源がオフになります。うっかり映画を見ながら眠ってしまっても、電源がついたままということを防げます。
オートスタンバイとスリープタイマをいっしょに使うことはできません。

スリープ 2 を押します。

- スリープ 2 を押すたびに、表示窓と映像上の表示が次のように切り替わります。目的の項目が表示されるまで、繰り返し押します。

A.STBY ON：オートスタンバイが有効になります。
↓
SLEEP 10：10分経過すると電源がオフになります。
⋮
SLEEP 150：150分経過すると電源がオフになります。
↓
SLEEP OFF：スリープタイマが解除されます。

- 「A.STBY ON」以外を選択すると、オートスタンバイは解除されます。

オートスタンバイを設定していると
電源がオフになる約20秒前になると表示窓の「A.STBY」が点滅します。

設定したスリープタイマを変更するには
スリープ 2 を繰り返し押して、時間を選び直します。

設定したスリープタイマを確認するには
スリープタイマが設定されているときに スリープ 2 を1回押すと、表示窓と映像上に設定されている時間が表示されます。

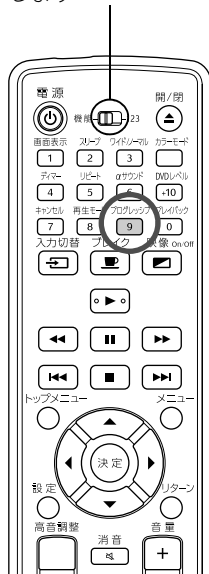
スリープタイマを解除するには
次のいずれかの操作を行います。
⏻を押す。
「SLEEP OFF」と表示されるまで、スリープ 2 を繰り返し押す。

ポイント

- スリープタイマの設定は記憶されません。電源をオフにすると、スリープタイマは解除されます。
- 外部ビデオ・PC モード時は、信号が未入力で何も操作がされない状態が約30分続くと、自動的に映像Offになります。この機能は、スリープタイマの設定に関わらず実行されます。
- 外部ビデオ・PCモード時は、オートスタンバイは働きません。
- 再生後メニューに戻るディスクは、オートスタンバイは働きません。

もっと使いこなそう

よりきれいな映像で投写する(プログレッシブ)

操作を開始する前に[機能]側にセットします

プログレッシブモードにすると、よりきれいな映像をお楽しみいただけます。

停止中、あるいはディスクがディスクトレイに入っていない状態で、[プログレッシブ 9] を押します。

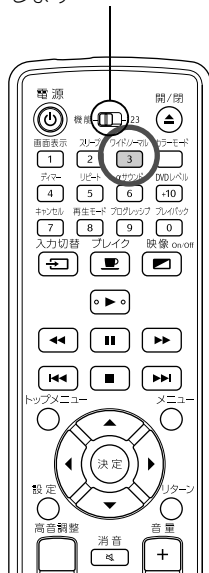
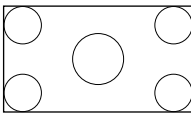
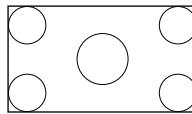
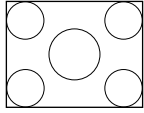
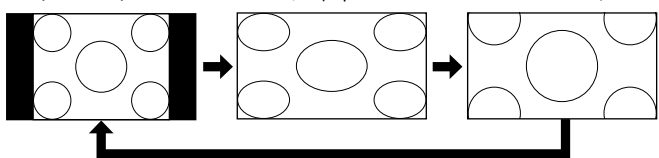
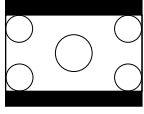
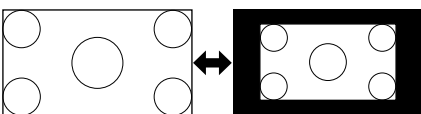
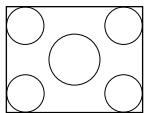
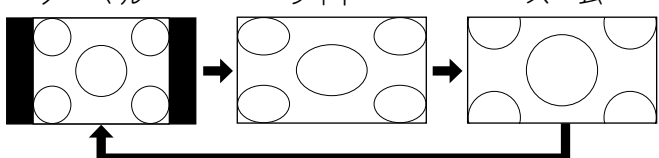
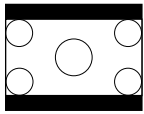
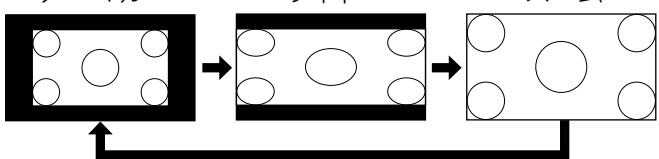
[プログレッシブ 9] を押すたびに、表示窓の表示が次のように切り替わりますので、「PROGRESSIVE」と表示されるまで押します。

PROGRESSIVE:すべての走査線を一度に表示します。インターレースよりも高細密な映像になります。

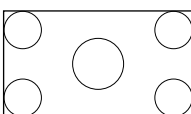
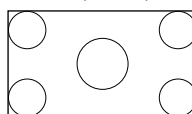
↓

INTERLACE :従来の映像方式です。1画面を奇数番の走査線と偶数番の走査線に2分割し、交互に表示します。

アスペクト比を切り替える

操作を開始する前に[機能]側にセットします

本機は入力信号に合ったアスペクトを自動で認識し、適切なアスペクトで映像を投写します。アスペクトを任意に変更したいときや正しいアスペクトで投写されないときは次のように切り替えることができます。

[ワイド/ノーマル 3] を押します。

- [ワイド/ノーマル 3] を押すたびに映像上にアスペクト名が表示されアスペクトが切り替わります。
- ディスクの設定や映像信号により次のようにアスペクトを切り替えられます。

内蔵DVDプレーヤーで投写しているとき

画面サイズ	アスペクト
16:9	ワイド(16:9)固定
4:3	ノーマル → ワイド → ズーム（→ ノーマル）
レターボックス	ズーム ↔ ノーマル

コンポーネントビデオ(SDTV)/S-ビデオ/コンポジットビデオの映像を投写しているとき

画面サイズ	アスペクト
4:3	ノーマル → ワイド → ズーム（→ ノーマル）
レターボックス	ノーマル → ワイド → ズーム（→ ノーマル）

※ 525i/525pの映像を投写しているときは映像信号の変化により即時アスペクトが自動的に切り替わります。

コンポーネントビデオ(HDTV)の映像を投写しているとき

画面サイズ	アスペクト
16:9	ワイド(16:9)固定

コンピュータの映像を投写しているとき

ワイドパネルのコンピュータ映像を投写しているときはノーマル固定(ワイド画面)になります。

ワイドパネルのコンピュータ映像が正しいアスペクトに投写されないときは ワイド/ノーマル 3 を押して適切なアスペクトになるように切り替えてください。

トレイロック

小さなお子様がいたずらしないように、ディスクトレイをロックすることができます。トレイロックは、ディスクをトレイにセットしたままでも行えます。

電源ONの状態(本体の⏻が緑で点灯時)に、本体の停止■を押したまま⏏を押します。

- 本体の表示窓に「TRAY LOCK」と表示され、ディスクトレイがロックされます。
- トレイロックを解除するには、設定時と同じ操作をします。本体の表示窓に「UNLOCKED」と表示され、トレイロックが解除されます。

チャイルドロック

小さなお子様が誤って電源を入れてしまい、万一ランプ点灯中にレンズを覗き込むと強力な光で視力障害などを起こすおそれがあります。チャイルドロックをしておくとこのような事故を防げます。

電源ONの状態(本体の⏻が緑で点灯時)に、本体のブレイクを押したまま⏏を押します。

- 本体の表示窓に「CHILD LOCK」と表示されます。以降、本体の⏻は約5秒間押し続けないと電源を入れることができなくなります。
- チャイルドロックを有効にしていると⏏は無効となります。⏏を押してもディスクトレイは開きません。
- リモコンからは通常どおり電源を入れることができます。
- チャイルドロックを解除するには、設定時と同じ操作をします。本体の表示窓に「UNLOCKED」と表示され、チャイルドロックが解除されます。

投写の達人になる

他のビデオ機器やテレビ･コンピュータと接続する

本機は、標準装備のDVDプレーヤー以外に、コンピュータや次のようなビデオ出力端子を持つ機器を接続して映像を投写することができます。
･ビデオテープレコーダ　･ゲーム機　･テレビチューナ内蔵機器
･ビデオカメラなど

ビデオ機器の信号方式
ビデオ機器によっては何種類かのビデオ信号を出力できるものがあります。ビデオ信号の方式により画質が異なります。一般的に次の順で画質が良いとされています。
①コンポーネントビデオ → ②S-ビデオ → ③コンポジットビデオ

どの信号方式で出力できるかはお使いのビデオ機器に添付の『取扱説明書』でご確認ください。
コンポジットビデオは単に「映像出力」と呼ばれることもあります。

接続する機器が特有のコネクタ形状をしている場合は、その機器の同梱品またはオプションのケーブルで接続します。

注意

- 接続する機器の電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ケーブルのプラグの向きや端子の形状が異なっているものを無理に押し込まないでください。機器の破損や故障の原因になります。
- ビデオ機器やコンピュータを接続していないときは、インターフェイスカバーは閉じておきます。

もっと使いこなそう

コンポジットビデオ方式

"他のビデオ機器やテレビ･コンピュータと接続する"つづく

S-ビデオ方式

コンポーネントビデオ方式

[Audio]入力端子へ

[Computer]入力端子へ

白

赤

L Audio R

Input

出力

左

音声

右

RCAオーディオ
ケーブル（市販品）

音声出力端子へ

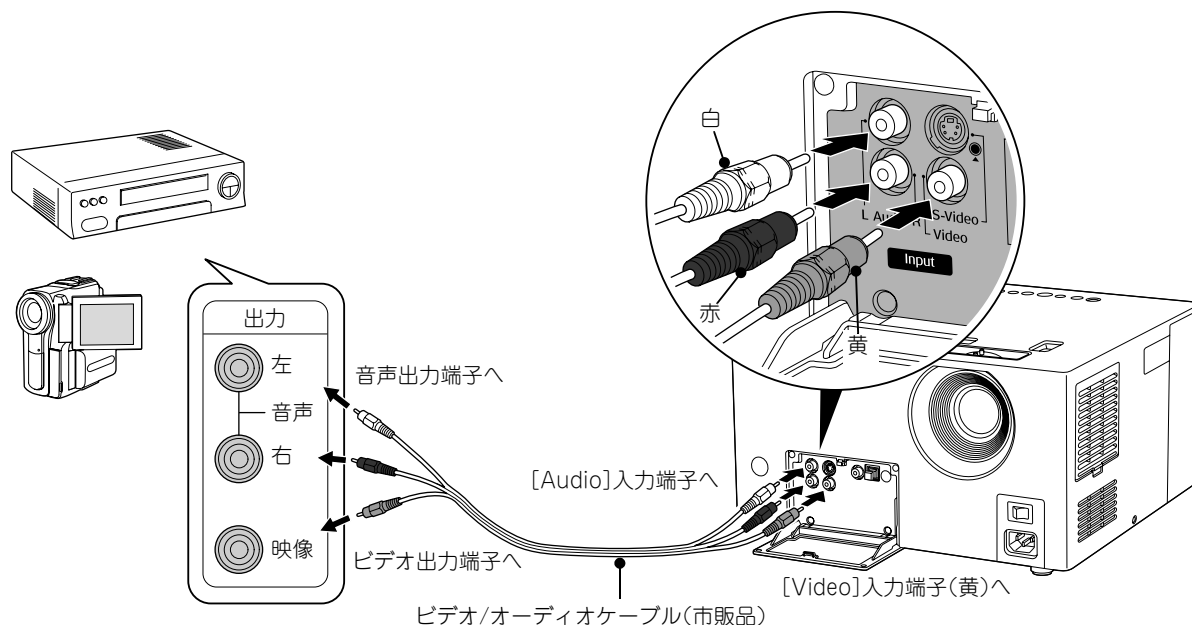
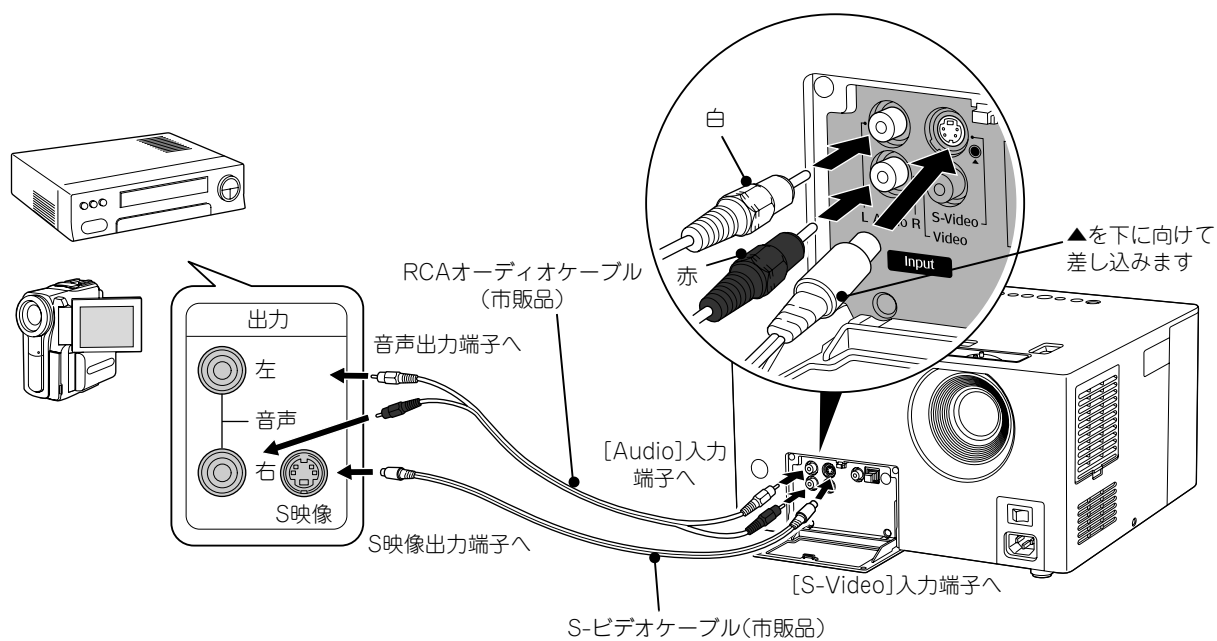
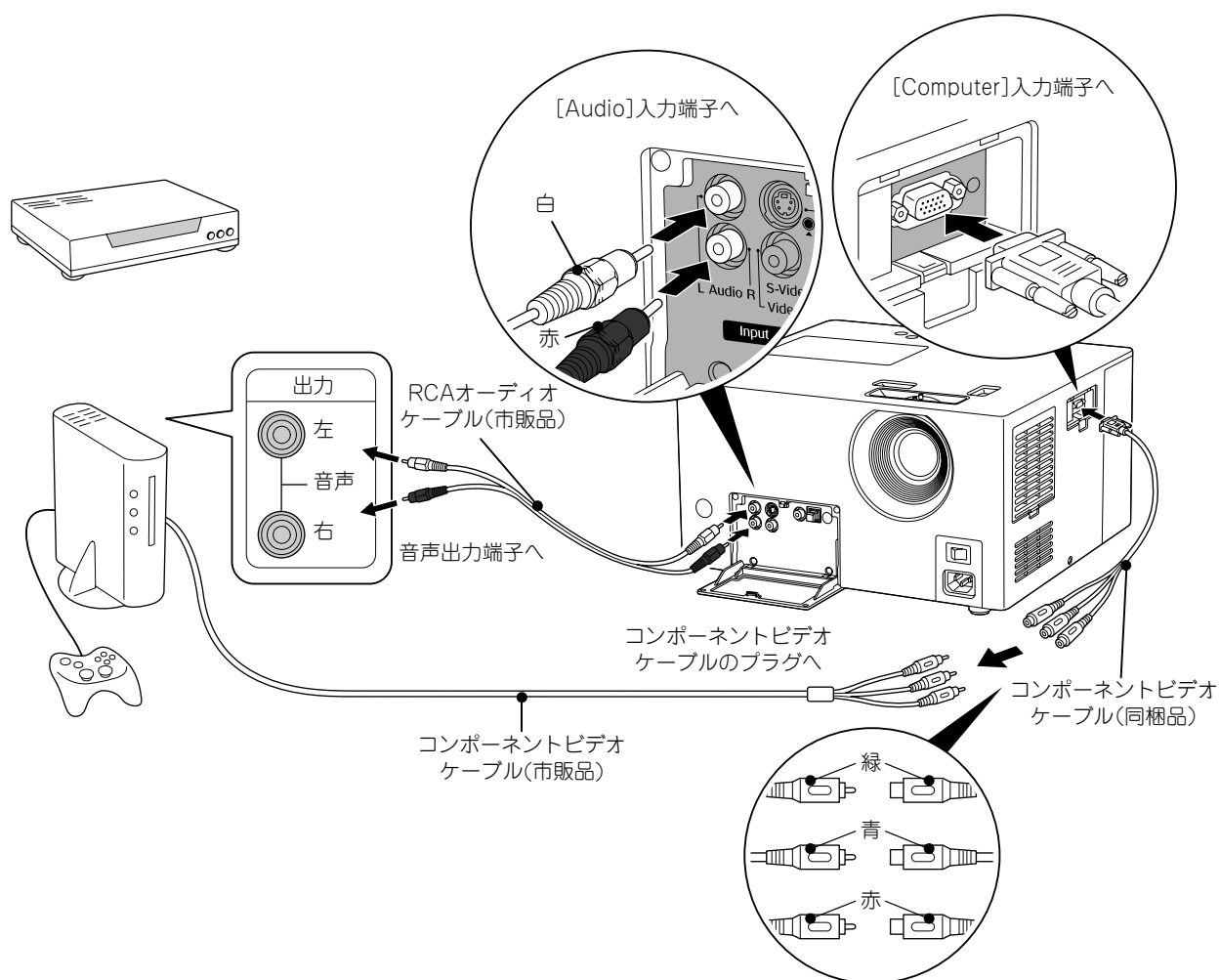
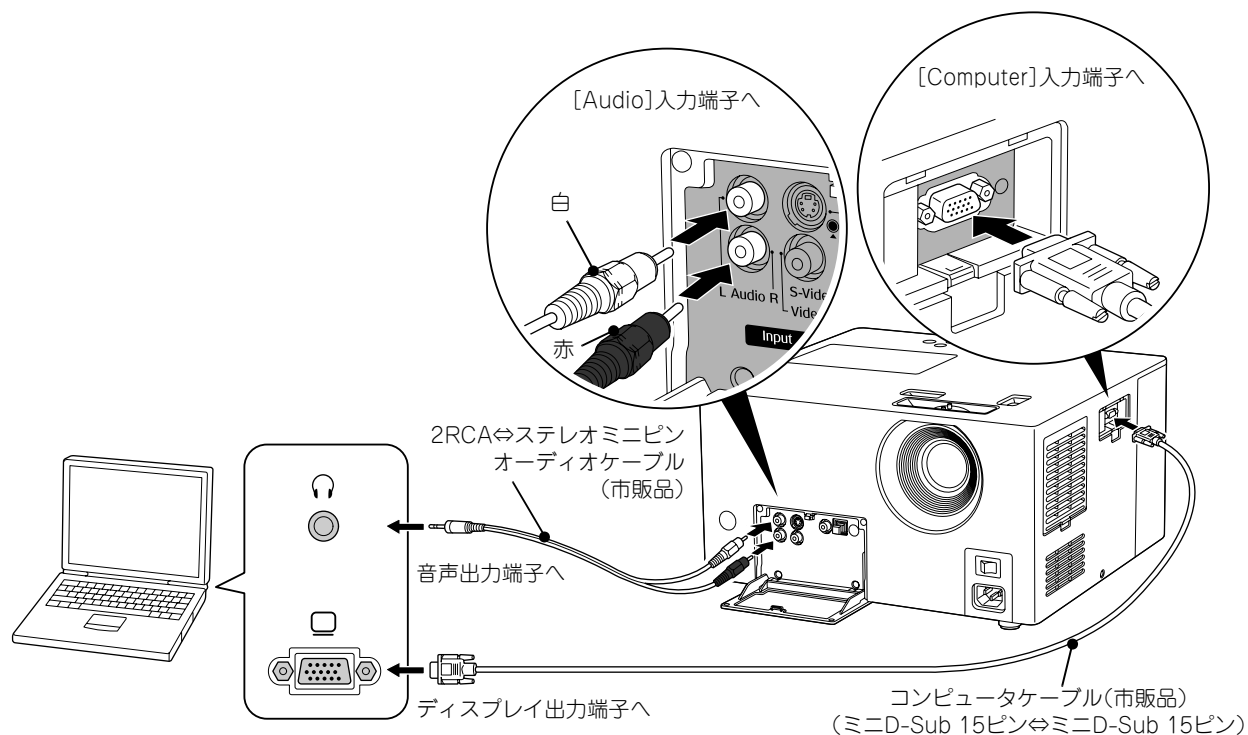
コンポーネントビデオ
ケーブルのプラグへ

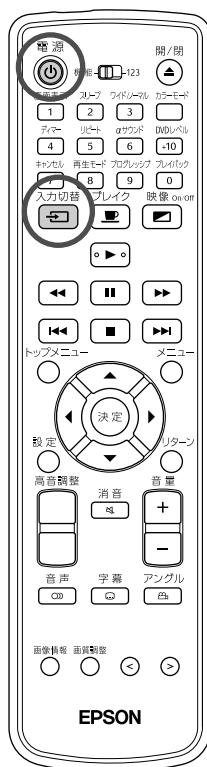
コンポーネントビデオ
ケーブル（同梱品）

コンポーネントビデオ
ケーブル（市販品）

緑

青

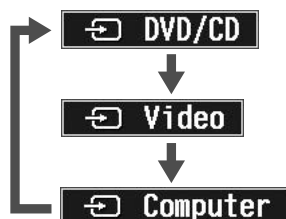
赤

コンピュータとの接続

市販の2RCA⇔ステレオミニプラグのオーディオケーブルを使うときは「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。

外部ビデオ機器やコンピュータの映像を投写する

1 **レンズカバーを付けている場合は、外します。**

2 **本機の主電源スイッチを入れ、⏻を押します。**

3 **入力切替 を押します。**

表示窓と映像上に入力ソース名が表示され、外部ビデオ・PC（コンピュータ）モードに切り替わります。映像が切り替わったことを確認し 入力切替 を押すたびに次の順で切り替わります。

"外部ビデオ機器やコンピュータの映像を投写する"つづく

4 **接続した機器の電源を入れ、ビデオ機器の場合は[再生]や[プレイ]ボタンを押します。**

ランプが消えている場合は、自動的にランプが点灯します。

しばらくすると、映像が投写されます。

本機に標準装備のDVDプレーヤーに戻すには

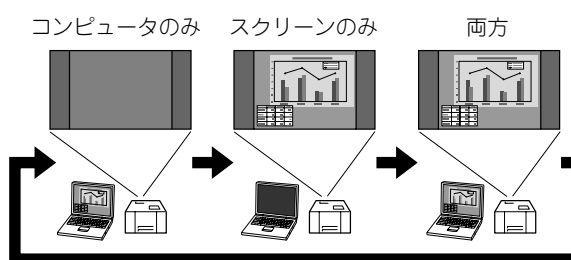
▶を押します。表示窓に「DVD/CD」と表示され、DVDモードに切り替わります。入力切替を押して切り替えることもできます。

コンピュータの映像が投写されないときは

コンピュータ側で映像信号の出力先をFnを押したままF○(□や⊟などの記載がキー上にある)を押して切り替えます。☞コンピュータの『取扱説明書』

切り替え後しばらくすると投写されます。

出力切り替えの一例			
エプソン	Fn + F8	東芝	Fn + F5
NEC	Fn + F3	IBM	Fn + F7
松下		SONY	
SOTEC		DELL	Fn + F8
HP	Fn + F4	富士通	Fn + F10
Macintosh	ミラーリングの設定、またはディスプレイの検出を行う。 OS によっては、F7で切り替えることができます。		

コンピュータによっては、次のように出力切り替えのキー操作を行うたびに表示状態が変わるものもあります。

外部ビデオ・PCモード時に有効な機能

外部ビデオ・PCモード時に有効なリモコンボタンは次のとおりです。

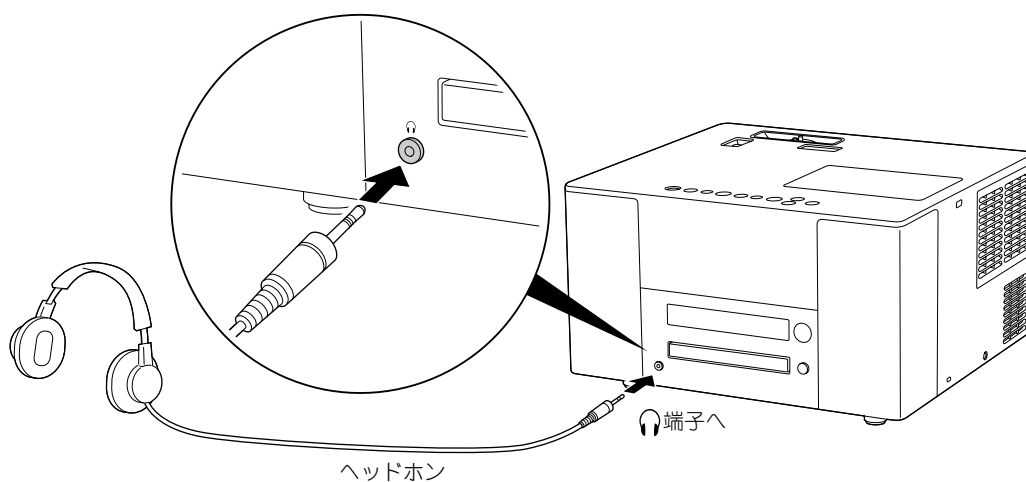
- **カラーモード☞p.19**
- **スリープ☞p.35**
- **DVDレベル☞p.47**
- **映像On/Off☞p.23**
- **消音☞p.19**
- **画像情報☞p.54**
- **ワイド/ノーマル☞p.59**
- **αサウンド☞p.45**
- **ブレイク☞p.19**
- **高音調整☞p.45**
- **音量☞p.15**
- **画質調整☞p.53**

音の達人になる

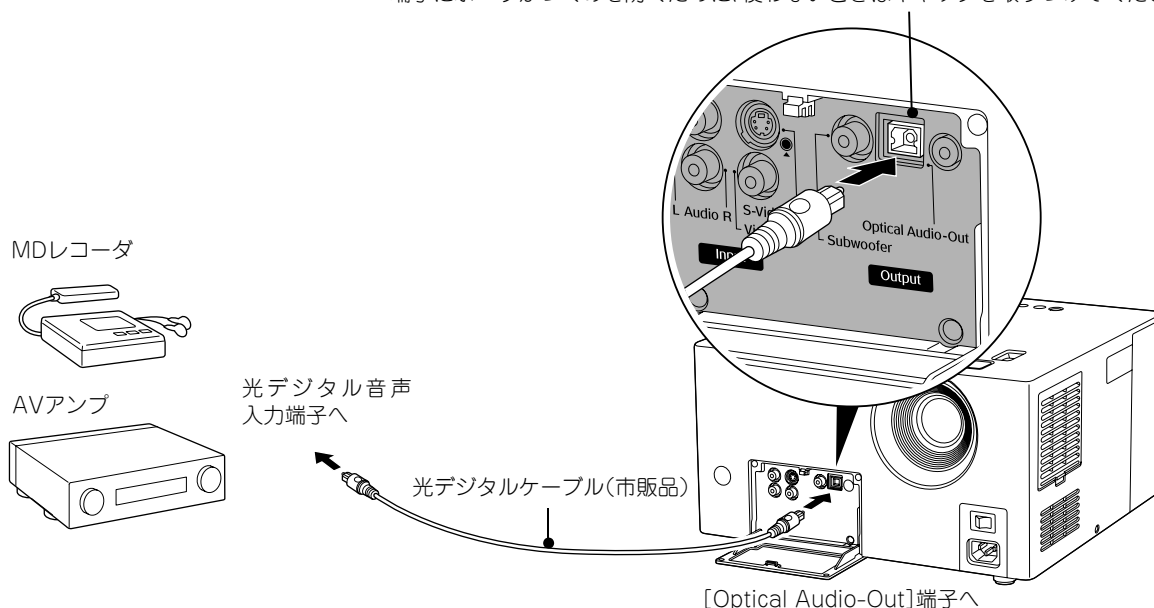
ヘッドホンで聞く

⚠注意

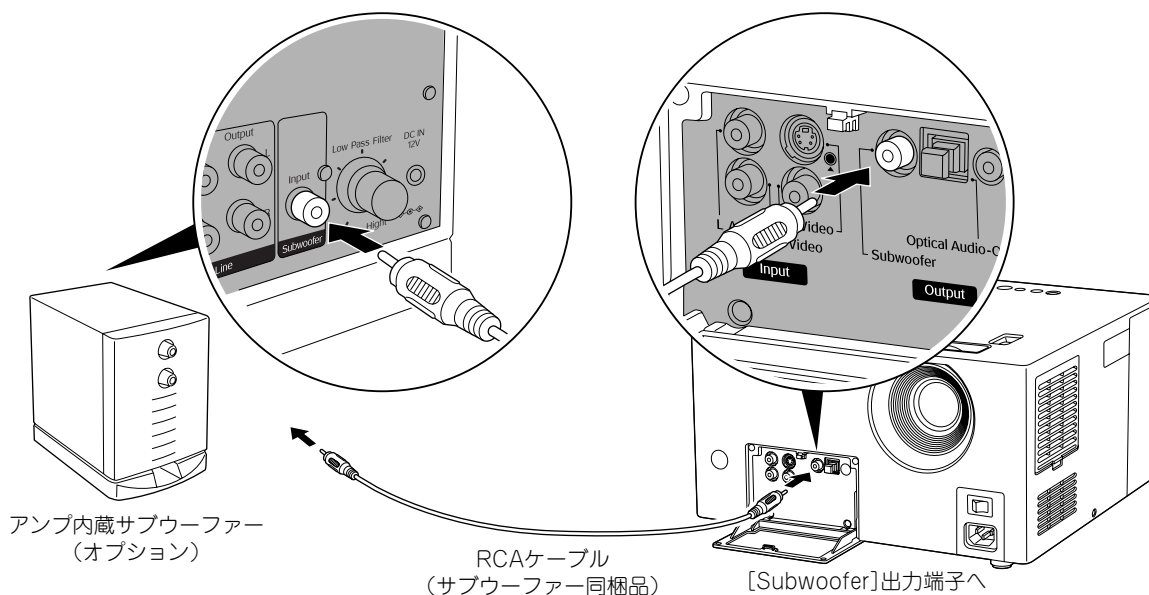
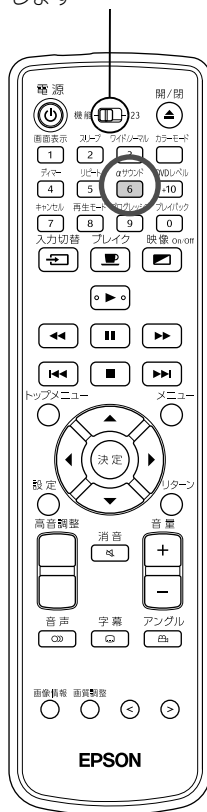
- ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないでください。耳を刺激するような大音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- 初めから音量を上げすぎないでください。突然、大きな音が出て聴力障害の原因やヘッドホンを破損することがあります。本機の電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

市販のヘッドホンを接続します。

ヘッドホン端子にヘッドホンのケーブルを接続すると、スピーカから音が出なくなります。サブウーファーを接続している場合は、サブウーファーの音も出なくなります。

光デジタル音声入力端子付きの音響機器を接続する

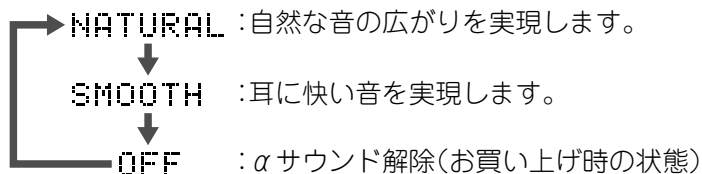
光デジタル音声入力端子のある、デジタル録音対応機器（MDレコーダなど）やAVアンプと接続できます。接続には、市販の光デジタルケーブルを使います。

- [Optical Audio-Out]端子から出力される信号は、設定メニューの「デジタルOUT」での設定により変わります。出力される信号の詳細 p.51
- ドルビーデジタルデコーダー内蔵アンプと接続した場合は、設定メニューの「Dレンジコントロール」での設定は無効となります。p.50

サブウーファーを接続する

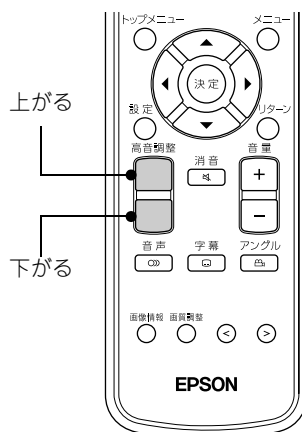
オプションのサブウーファーを接続すると、より迫力のある重低音をお楽しみいただけます。
接続、使用方法の詳細はサブウーファーに添付の『取扱説明書』をご覧ください。

αサウンドを選ぶ

α サウンドを有効にすると、本機のスピーカからの音声に自然な音の広がり感を得られます。

6(αサウンド) を押します。

6(αサウンド) を押すたびに、次のように表示窓と映像上の表示が切り替わります。目的のモード名が表示されるまで繰り返し 6(αサウンド) を押します。

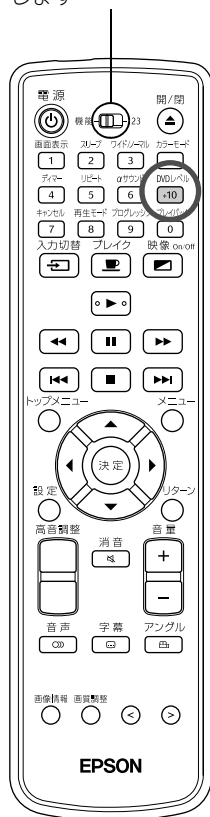
NATURAL ：自然な音の広がりを実現します。
↓
SMOOTH ：耳に快い音を実現します。
↓
OFF ：α サウンド解除（お買い上げ時の状態）

αサウンドとは
α 波は、人がリラックスしているときに発生する脳波のひとつと言われています。α サウンドは、サウンド回路の要である左右差信号（L-R間接音）に α 波周波数で揺らぎを与え（これをLFO変調といいます）、さらに抜け落ちやすい中音域の音楽信号を自然に補正することにより、聞くだけでリラックスできるような自然で心地よい音づくりを目指しました。

もっと使いこなそう

高音を調節する

高音部の音量を調節します。
外部ビデオ機器から音声を入力している場合も有効です。

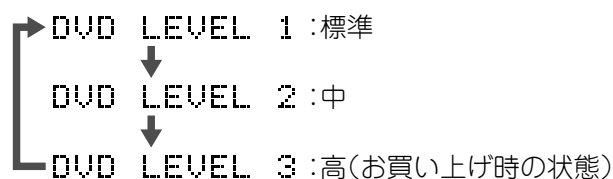
ボタンを押すたびに表示窓と映像上に調節の段階が表示されます。

音声の再生レベルを調節する

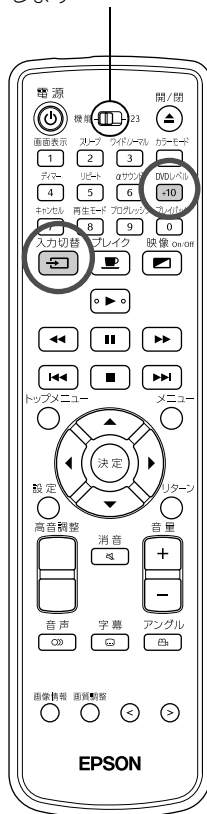
操作を開始する前に［機能］側にセットします

DVDビデオの音声は、他の種類のディスクよりも低いレベル(音量)で記録されている場合があります。お買い上げ時は、DVDビデオのときだけ音量を上げるようになっています。この差が気になるときは、次の設定をしてください。

再生中に を押します。

DVDレベル +10 を押すたびに、表示窓と映像上の表示が次のように切り替わります。再生される音を聞きながら、設定できます。

DVD LEVEL 1 :標準
↓
DVD LEVEL 2 :中
↓
DVD LEVEL 3 :高(お買い上げ時の状態)

ポイント

- DVDビデオ の再生時に限り設定が有効となります。本設定を変えても[Optical Audio-Out]端子からの出力レベルは変わりません。
- 停止中、一次停止中にも操作ができます。

外部オーディオ機器の音声入力レベルを調節する

[Audio]入力端子に接続した機器の音声入力レベルを調節することができます。

1 入力切替 を押して、外部ビデオ・PCモードに切り替えます。

2 DVDレベル +10 を約2秒以上押し続け(長押し)ます。

DVDレベル +10 を長押しするたびに、表示窓の表示が次のように切り替わります。

LEVEL 1:通常は、こちらでお使いください。(お買い上げ時設定)

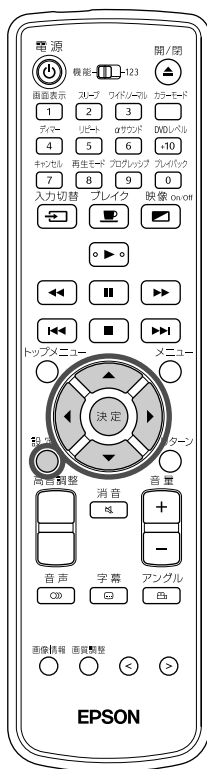
↕

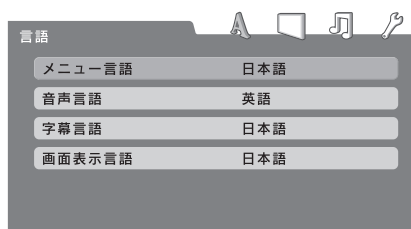
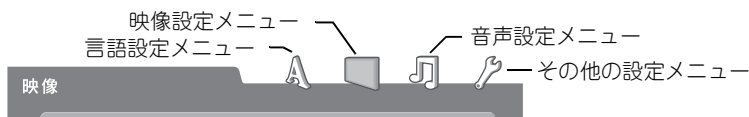
LEVEL 2:外部機器からの入力レベルが小さくて聞き取りにくいときは、こちらに設定します。

設定と調整

設定メニューの操作と機能

お使いの環境に合わせて本機の設定を変更できます。

設定メニューの操作

1 停止中、またはディスクをセットしていない状態で、(設定)を押します。

次の設定メニューが表示されます。

2 ▶◀を押すと右上のアイコン上をポインタが移動し、メニューのグループを選択できます。

3 ▼▲を押して、設定する項目を選びます。

4 (決定)を押すと設定内容がプルダウンメニューで表示されます。

5 ▼▲を押して項目を選択し、(決定)を押します。

設定メニューの途中で、ひとつ前の状態に戻るには

(リターン)を押します。

設定メニュー一覧

太字がお買い上げ時の設定です。

言語設定メニュー

設定項目	設定内容
メニュー言語 DVDビデオのメニューの言語を選びます。 **音声言語** DVDビデオの音声の言語を選びます。 **字幕言語** DVDビデオの字幕の言語を選びます。	"AA"などの言語コードは「言語コード一覧」をご覧ください。☞p.51 ディスク自体に設定が記録されている場合は、その設定が有効となります。設定が記録されていないときは、本設定の内容が有効となります。選んだ言語がディスクに記録されていないときは、そのディスクで決められている言語になります。
画面表示言語 メニュー(設定、画質調整、画像情報)をどの言語で表示するかを選びます。	**日本語** 英語

映像設定メニュー

設定項目	設定内容
映像ソース	**オート**:映像ソース(ビデオ/フィルム)を自動的に判別します。 フィルム:フィルム素材、またはプログレッシブスキャン方式で記録されたビデオ素材の映像に適しています。 ビデオ:ビデオ素材の映像に適しています。
スクリーンセーバー 静止画が表示されてから約5分操作がなかったとき、投写画面を暗くする/しないを選びます。	**オン**:暗くします。 オフ:暗くしません。
ファイルタイプ MP3/WMAとJPEGの両ファイルが混在するディスクをセットしたとき、どちらを再生するかを選びます。	**オーディオ**:MP3/WMAファイルだけを再生します。 静止画:JPEGだけを再生します。 設定変更後は、ディスクトレイを開/閉するか、本機の電源を入れ直します。以降、変更が有効となります。

"設定メニュー一覧"つづく

音声設定メニュー

設定項目	設定内容
デジタルOUT [Optical Audio-Out]端子に接続する機器に合わせて出力信号の種類を選びます。 信号の詳細 ☞p.51	PCMのみ：リニアPCMだけに対応している機器を接続した場合。 DOLBY DIGITAL/PCM：ドルビーデジタルデコーダー、または同機能を持つ機器を接続した場合。 **ストリーム/PCM**：DTS/ドルビーデジタルデコーダー、またはこれらの機能を持つ機器を接続した場合。
ダウンミックス 「デジタルOUT」を「PCMのみ」に設定している場合の[Optical Audio-Out]端子からの信号を切り替えます。 内蔵スピーカとヘッドホン出力端子からの音声信号も切り替わります。	**ドルビーサラウンド**：ドルビープロロジックデコーダー内蔵の機器と接続する場合。 ステレオ：通常の機器と接続する場合。
D(ダイナミック)レンジコントロール 小音量で再生したとき、大きな音と小さな音の聞こえ方の差を補正します。 ドルビーデジタルで記録したDVDビデオに対してだけ有効です。 映画などで音声レベルが低いときは「オン」に設定してください。	**オート**：Dレンジコントロールが自動的に働きます。 オン：Dレンジコントロールが常に働きます。

その他の設定メニュー

設定項目	設定内容
リジューム 再生を停止後、再び再生したときリジューム再生する/しないを選びます。	**オン**：リジューム再生します。 オフ：先頭から再生します。
オンスクリーンガイド 画面上にオンスクリーンガイドを表示する/しないを選びます。	**オン**：表示させます。 オフ：表示させません。
視聴制限 DVDビデオの過激なシーンをカットしたり、他のシーンに差し替えたりする視聴制限を設定します。	カントリーコード：通常はJPを選びます。☞p.52 セットレベル：数値が小さいほど制限が厳しくなります。「なし」を選ぶと制限を受けません。 パスワード※：必ず設定してください。リモコンの数字ボタン(1～9,0)で、4桁のパスワードを設定します。ここで設定したパスワードは、再生時や次回この設定を変更するときに入力します。万一、パスワードを忘れた場合は、8888を入力してください。 EXIT：視聴制限の設定から抜けます。

※パスワードを3回間違えると、自動的に設定メニューが終了します。

言語コード一覧

コード	言語
AA	アファル語
AB	アブハジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バシキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EO	エスペラント語
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語

コード	言語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラード語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディー語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IE	国際語
IK	イヌピック語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IW	ヘブライ語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア語
KN	カンナダ語
KO	韓国(朝鮮)語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語

コード	言語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MS	マライ(マレー)語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NL	オランダ語
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	(アフォン)オロモ語
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ-ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニャルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンド語
SH	セルボアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語

コード	言語
SL	スロベニア語
SM	サモア語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥー語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ヴォラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZU	ズール語

「デジタルOUT」の設定と出力信号の関係

再生ディスク	「デジタルOUT」設定		
	ストリーム/PCM	DOLBY DIGITAL/PCM	PCMのみ
48kHz、16/20/24ビット リニアPCMのDVDビデオ 96kHz リニアPCMのDVDビデオ	48kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
DTSのDVDビデオ	DTSビットストリーム	48kHz、16ビットのリニアPCM	
ドルビーデジタルのDVDビデオ	ドルビーデジタルビットストリーム		48kHz、16ビットステレオのリニアPCM
オーディオCD・ビデオCD・SVCD	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM/48kHz、16ビットのリニアPCM		
DTSのオーディオCD	DTSビットストリーム	44.1kHz、16ビットのリニアPCM	
MP3/WMAのディスク	32/44.1/48kHz、16ビットのリニアPCM		

カントリー(エリア)コード一覧

Code	Country
AD	Andorra
AE	United Arab Emirates
AF	Afghanistan
AG	Antigua and Barbuda
AI	Anguilla
AL	Albania
AM	Armenia
AN	Netherlands Antilles
AO	Angola
AQ	Antarctica
AR	Argentina
AS	American Samoa
AT	Austria
AU	Australia
AW	Aruba
AZ	Azerbaijan
BA	Bosnia and Herzegovina
BB	Barbados
BD	Bangladesh
BE	Belgium
BF	Burkina Faso
BG	Bulgaria
BH	Bahrain
BI	Burundi
BJ	Benin
BM	Bermuda
BN	Brunei Darussalam
BO	Bolivia
BR	Brazil
BS	Bahamas
BT	Bhutan
BV	Bouvet Island
BW	Botswana
BY	Belarus
BZ	Belize
CA	Canada
CC	Cocos (Keeling) Islands
CF	Central African Republic
CG	Congo
CH	Switzerland
CI	Côte d'Ivoire
CK	Cook Islands
CL	Chile
CM	Cameroon
CN	China
CO	Colombia
CR	Costa Rica
CU	Cuba
CV	Cape Verde
CX	Christmas Island
CY	Cyprus
CZ	Czech Republic
DE	Germany
DJ	Djibouti
DK	Denmark
DM	Dominica
DO	Dominican Republic
DZ	Algeria
EC	Ecuador
EE	Estonia
EG	Egypt
EH	Western Sahara
ER	Eritrea
ES	Spain

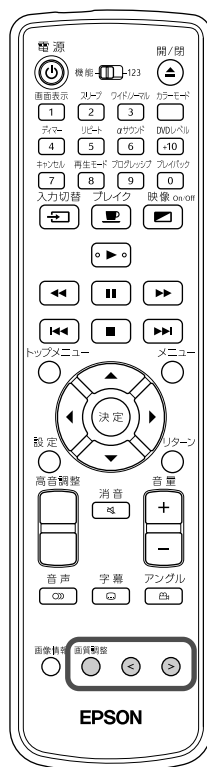
Code	Country
ET	Ethiopia
FI	Finland
FJ	Fiji
FK	Falkland Islands (Malvinas)
FM	Micronesia (Fedelated States of)
FO	Faroe Islands
FR	France
FX	France, Metropolitan
GA	Gabon
GB	United Kingdom
GD	Grenada
GE	Georgia
GF	French Guiana
GH	Ghana
GI	Gibraltar
GL	Greenland
GM	Gambia
GN	Guinea
GP	Guadeloupe
GQ	Equatorial Guinea
GR	Greece
GS	South Georgia and the South Sandwich Islands
GT	Guatemala
GU	Guam
GW	Guinea-Bissau
GY	Guyana
HK	Hong Kong
HM	Heard Island and McDonald Islands
HN	Honduras
HR	Croatia
HT	Haiti
HU	Hungary
ID	Indonesia
IE	Ireland
IL	Israel
IN	India
IO	British Indian Ocean Territory
IQ	Iraq
IR	Iran (Islamic Republic of)
IS	Iceland
IT	Italy
JM	Jamaica
JO	Jordan
JP	**Japan**
KE	Kenya
KG	Kyrgyzstan
KH	Cambodia
KI	Kiribati
KM	Comoros
KN	Saint Kitts and Nevis
KP	Korea, Democratic People's Republic of
KR	Korea, Republic of
KW	Kuwait
KY	Cayman Islands
KZ	Kazakhstan
LA	Lao People's Democratic Republic
LB	Lebanon

Code	Country
LC	Saint Lucia
LI	Liechtenstein
LK	Sri Lanka
LR	Liberia
LS	Lesotho
LT	Lithuania
LU	Luxembourg
LV	Latvia
LY	Libyan Arab Jamahiriya
MA	Morocco
MC	Monaco
MD	Moldova, Republic of
MG	Madagascar
MH	Marshall Islands
ML	Mali
MM	Myanmar
MN	Mongolia
MO	Macau
MP	Northern Mariana Islands
MQ	Martinique
MR	Mauritania
MS	Montserrat
MT	Malta
MU	Mauritius
MV	Maldives
MW	Malawi
MX	Mexico
MY	Malaysia
MZ	Mozambique
NA	Namibia
NC	New Caledonia
NE	Niger
NF	Norfolk Island
NG	Nigeria
NI	Nicaragua
NL	Netherlands
NO	Norway
NP	Nepal
NR	Nauru
NU	Niue
NZ	New Zealand
OM	Oman
PA	Panama
PE	Peru
PF	French Polynesia
PG	Papua New Guinea
PH	Philippines
PK	Pakistan
PL	Poland
PM	Saint Pierre and Miquelon
PN	Pitcairn
PR	Puerto Rico
PT	Portugal
PW	Palau
PY	Paraguay
QA	Qatar
RE	Réunion
RO	Romania
RU	Russian Federation
RW	Rwanda
SA	Saudi Arabia
SB	Solomon Islands
SC	Seychelles

Code	Country
SD	Sudan
SE	Sweden
SG	Singapore
SH	Saint Helena
SI	Slovenia
SJ	Svalbard and Jan Mayen
SK	Slovakia
SL	Sierra Leone
SM	San Marino
SN	Senegal
SO	Somalia
SR	Suriname
ST	Sao Tome and Principe
SV	El Salvador
SY	Syrian Arab Republic
SZ	Swaziland
TC	Turks and Caicos Islands
TD	Chad
TF	French Southern Territories
TG	Togo
TH	Thailand
TJ	Tajikistan
TK	Tokelau
TM	Turkmenistan
TN	Tunisia
TO	Tonga
TP	East Timor
TR	Turkey
TT	Trinidad and Tobago
TV	Tuvalu
TW	Taiwan
TZ	Tanzania, United Republic of
UA	Ukraine
UG	Uganda
UM	United States Minor Outlying Islands
US	United States
UY	Uruguay
UZ	Uzbekistan
VA	Vatican City State (Holy See)
VC	Saint Vincent and the Grenadines
VE	Venezuela
VG	Virgin Islands (British)
VI	Virgin Islands (U.S.)
VN	Viet Nam
VU	Vanuatu
WF	Wallis and Futuna Islands
WS	Samoa
YE	Yemen
YT	Mayotte
YU	Yugoslavia
ZA	South Africa
ZM	Zambia
ZR	Zaire
ZW	Zimbabwe

画質調整メニューの操作と機能

投写画面の明るさやコントラストなどの調整が行えます。

画質調整メニューの操作

1 **投写している状態で 画質調整 を押します。**

次のメニューが表示されます。

2 **画質調整 を押すたびに、次のようにメニュー項目が変わります。調整する項目が表示されるまで繰り返し 画質調整 を押します。**

明るさ → コントラスト → 色の濃さ → 色合い → シャープネス → 台形補正 → 画質調整メニュー解除

3 **> < を押して、調整します。**

4 **そのまましばらくすると調整が終了し、メニューが消えます。**

- 調整後、画質調整 を押すとメニューの次項目が表示されます。

メニューの途中で、調整前の状態に戻るには

キャンセル 7 を押します。

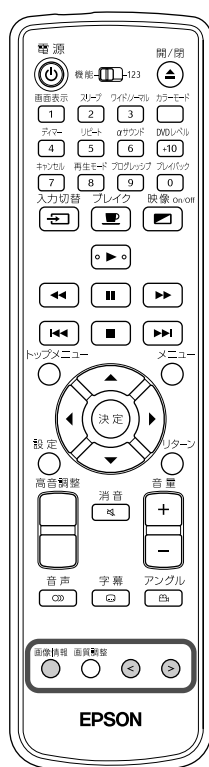
設定と調整

画質調整メニュー一覧

設定項目	設定内容
明るさ	映像の明るさを調整します。
コントラスト	映像の明暗の差を調整します。
色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。(コンピュータ接続時は表示されません。)
色合い	映像の色合いを調整します。(NTSC系以外の外部ビデオ機器やコンピュータ接続時は表示されません。)
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。
台形補正	スクリーンが垂直に設置されていない場合は、投写映像が台形にゆがみます。以下のように台形ゆがみを補正できます。

画像情報メニューの操作と機能

本機の状態を確認できる「情報表示」やビデオ信号方式、高地モード、ランプ点灯時間初期化を設定できます。

画像情報メニューの操作

1 **投写している状態で 画像情報 を押します。**

次の情報表示が表示されます。

2 **画像情報 を押すたびに、次のようにメニュー項目が変わります。確認・調整する項目が表示されるまで繰り返し 画像情報 を押します。**

情報表示 → ビデオ信号方式 → 高地モード → ランプ点灯時間初期化 → 型番表示モード → 画像情報メニュー解除

3 **> < を押して、調整します。**

4 **そのまましばらくすると、調整が終了しメニューが消えます。**

- 調整後、画像情報 を押すとメニューの次項目が表示されます。

メニューの途中で、調整前の状態に戻るには

キャンセル 7 を押します。

画像情報メニュー一覧

設定項目	設定内容
情報表示 現在の状態を表示します。	ランプ点灯時間：ランプの累積使用時間です。0〜10時間までは0Hと表示されます。10時間以上は1時間単位で表示されます。ランプ交換時期になると、文字が黄色に変わります。 入力ソース：標準装備のDVDプレーヤーの映像を投写しているのか、外部ビデオ機器やコンピュータの映像を投写しているのかを表示しています。 ビデオ信号方式：「入力ソース」が「Video」のときに表示される項目で、入力しているビデオ信号の方式を表示しています。 入力解像度：「入力ソース」が「Computer」のときに表示される項目で、入力しているコンピュータ映像信号の解像度やコンポーネントビデオの信号を表示しています。
ビデオ信号方式	(「入力ソース」が「Video」のときに限り表示されます。) [Video]入力端子、または[S-Video]入力端子に接続しているビデオ機器の信号方式を設定します。お買い上げ時は「オート」に設定されており、自動的にビデオ信号を認識します。「オート」になっていても映像にノイズが入ったり、映像が映らないなどのトラブルが起きる場合は、適切な信号を選択してください。
高地モード	本機を標高1500m以上の地域で使うときは、「オン」を選択します。
ランプ点灯時間初期化	ランプ交換をした場合は、必ず初期化を行います。ランプ点灯時間の累積がクリアされます。
型番表示モード	プロジェクターの型番を表示します。

付 録

困ったときに

インジケータの見方

天面のインジケータで本機の状態を確認できます。
下表でそれぞれの状態を確認し、手順に従って対処してください。
※インジケータがすべて消灯している場合は、電源ケーブルが正しく接続されていないか、または、主電源スイッチが入っていません。

⏻が緑/オレンジで交互に点灯しているとき　異常

:緑/オレンジが交互に点灯
● :点灯　:点滅　○ :消灯

内部異常（赤 点滅・点滅 ／ 赤 点滅・🌡 ／ ⏻）
主電源スイッチを切って、入れ直します。
⏻を押して電源を入れても、インジケータの状態が変わらないときは
→ 電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店、またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。 ☞p.70

ファン異常/センサ異常（○・点滅 ／ 赤 点滅・🌡 ／ ⏻）
→ 電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店、またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。 ☞p.70

高温異常（オーバーヒート）（○・点滅 ／ 赤 ●・🌡 ／ ⏻）
ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約40秒間そのままの状態で待ち、スタンバイ状態になったら右記の2点を確認します。
電源が切れたときは、主電源スイッチを入れ直します。

- 壁からは 20cm 以上離してください。
- エアーフィルタを掃除してください。☞p.60

→ ⏻を押して電源を入れても、インジケータの状態が変わらないとき → 電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店、またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。

ランプ異常/ランプ点灯失敗/ランプ切れ/ランプカバー開（赤 点滅・点滅 ／ ○・🌡 ／ ⏻）
ランプが割れていないか確認します。☞p.62
エアーフィルタと吸気口の掃除をします。☞p.60

ランプは割れていない	ランプを再セットし、本機の主電源スイッチを入れ映像On/Offを押します。 → ランプを再セットしても直らないとき → 電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店、またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。
ランプが割れている	お買い上げの販売店、またはエプソンの各修理センターにご相談ください。☞p.70

☼や🌡インジケータがオレンジの点滅時　警告

●：点灯　☼：点滅　○：消灯

インジケータ	状態
○ ☼ オレンジ ☼ 🌡 緑 ⏻	**高速冷却中** このまま投写を続けられます。さらに高温になると投写を自動的に停止します。 次の2点を確認します。 • 壁からは 20cm 以上離してください。 • エアーフィルタを掃除してください。 p.60 ▶ ⏻を押して電源を入れても、改善されないときはご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いてください。お買い上げの販売店、またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。 p.70
オレンジ ☼ ☼ ○ 🌡 緑 ⏻	**ランプ交換勧告** ランプの交換時期です。すみやかに新しいランプと交換してください。 このまま使い続けるとランプが破裂するおそれがあります。 p.62

☼と🌡インジケータ消灯時　正常

●：点灯　☼：点滅　○：消灯

インジケータ	状態	説明
⏻ オレンジ　映像 ● Off オレンジ	**スタンバイ状態**	操作が開始できる状態になったことを示しています。
⏻ 緑　☕ 緑　映像 ☼On 緑	**ウォームアップ中（約20秒）**	ウォームアップ中は⏻、または映像を押しても無効になります。 ウォームアップ中は、主電源スイッチを切ったり、電源ケーブルを抜いたりしないでください。ランプの早期劣化の原因となります。
⏻ 緑　☕ 緑　映像 ● On 緑	**投写中**	
⏻ 緑　映像 ☼Off オレンジ	**クールダウン中（約9秒）**	クールダウン中はリモコンと本体ボタンの操作はすべて無効になります。 クールダウンが終了すると、スタンバイ状態になります。 クールダウン中は、主電源スイッチを切ったり、電源ケーブルを抜いたりしないでください。ランプの早期劣化の原因となります。
⏻ 緑　☼☕ 緑　映像 ● On 緑	**ブレイク中**	ブレイクを押すと、通常の再生に戻ります。

付録

インジケータを見てもわからないとき

本機が正常に動作しないときは、修理に出す前に下記をご覧になり点検をしてください。それでも直らないときは、お買い上げの販売店、またはプロジェクターインフォメーションセンター、修理センターにお問い合わせください。

こんな時は	ここをご確認ください	参照ページ
電源が入らない	• 主電源スイッチは入っていますか？	☞p.13
	• 電源ケーブルを抜いて、接続し直します。	☞p.13
	• クールダウン中ではありませんか？	☞p.57
	• 電源ケーブルを触ると、インジケータが点いたり消えたりするときは、主電源スイッチを切り電源ケーブルを抜いてから接続し直します。それでも直らないときは、電源ケーブルが故障している可能性があります。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターにご相談ください。	☞p.70
	• チャイルドロックの設定になっていませんか?	☞p.38
映像が表示されない	• 映像Offインジケータがオレンジで点灯していませんか？	☞p.23
	• DVDビデオの場合、ディスクのリージョン番号が「2」、または「ALL」のディスクですか？	☞p.7
	• DVDに切り替えるには ▶ を押します。	☞p.42
	• ランプが切れていませんか？	☞p.56
ぼやける、ピントが合わない	• ピント調整をしましたか？	☞p.15
	• レンズカバーがついていませんか？	☞p.13
	• 投写距離は最適ですか？	☞p.65
	• 結露していませんか？	☞p.5
暗い	• 使用環境に応じたカラーモードになっていますか？	☞p.19
	• ランプの交換時期ではありませんか？	☞p.61
	• スクリーンセーバーが働いていませんか？	☞p.49
リモコンで操作できない	• 機能/数字切替スイッチが[123]（数字入力）側になっていませんか？	☞p.21
	• ディスクによっては、特定の操作が禁止されていることがあります。	-
	• 乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか？	☞p.11
音が出ない・小さい	• 音量調節が最小になっていませんか？	☞p.15
	• 消音になっていませんか？ 消音 を押します。	-
	• DVDレベルの設定が「DVD LEVEL 1」になっていませんか？	☞p.46
音がひずむ	音量を上げすぎていませんか？	☞p.15
音声/字幕言語の切り替えができない	• ディスクに複数の言語が収録されていないと切り替えはできません。	-
	• ディスクによってはDVDのメニューでのみ切り替えるタイプがあります。	-
字幕が出ない	• ディスクに字幕が入っていないと表示されません。	-
	• 字幕言語が「オフ」になっていませんか？	☞p.33
	• A-BリピートのAポイント、Bポイントの前後では字幕が表示されないことがあります。	-

外部ビデオ･PCモードで使っているとき

こんな時は	ここをご確認ください	参照ページ
映像が表示されない	• 接続している機器の電源は入っていますか？ 接続機器の電源を入れ、機器によっては再生ボタンを押します。	p.41
	• [S-Video]入力端子と[Video]入力端子の両方に接続していると、S-Videoの信号のみ有効となります。[Video]入力端子に接続した機器の映像を見たいときは、[S-Video]入力端子からケーブルを抜いてください。	-
「この信号は表示できません。」と表示される	• 外部ビデオ機器接続時 画像情報メニューの「ビデオ信号方式」を「オート」に設定しても投写できないときは機器に応じた信号方式に設定します。	p.55
	• コンピュータ接続時 映像信号の解像度やリフレッシュレートが本機で対応できるモードですか？ コンピュータから出力されている映像信号の解像度･リフレッシュレートの変更は、コンピュータの取扱説明書などでご確認ください。	p.66
「映像信号が入力されていません。」と表示される	• ケーブル類は正しく接続されていますか？	p.39, 40
	• 接続している機器の電源は入っていますか？ 接続機器の電源を入れます。ビデオ機器の場合は機器によっては再生ボタンを押します。	p.41
	• ノートタイプや液晶一体型のコンピュータを接続していますか？ コンピュータで映像信号の出力先を切り替えます。	p.42
	• DVDに切り替えるには[▶]を押します。	p.42
ノイズが入る	• 接続ケーブルを延長しているとノイズが入ることがあります。増幅機器などを接続して確認してください。	-
	• コンピュータ映像信号の解像度が本機で対応できるモードですか？ コンピュータから出力されている映像信号の解像度の変更は、コンピュータの取扱説明書などでご確認ください。	p.66
	• コンピュータ映像を投写していてノイズやちらつきがあるときはリモコンの(<)を押します。「自動調整中」と表示され同期･トラッキング･表示位置が自動調整されます。	-
画像が切れる(大きい)、小さい	• 本機は、入力信号に合ったアスペクトを自動で認識して投写します。アスペクトが正しく投写されないときは、[ワイド/ノーマル 3]を押して入力信号に合ったアスペクトを選択します。	p.36
	• コンピュータの映像を投写していて映像の一部が欠けるときはリモコンの(<)を押します。「自動調整中」と表示され同期･トラッキング･表示位置が自動調整されます。	-
色合いが違う	画像情報メニューの「ビデオ信号方式」を機器に応じた信号方式に設定します。	p.55
コンピュータで再生している動画が黒くなる	コンピュータ映像信号を外部のみの出力に切り替えます。 コンピュータに添付の『取扱説明書』、あるいはお使いのコンピュータのメーカーにお問い合わせください。	-

付録

お手入れの方法

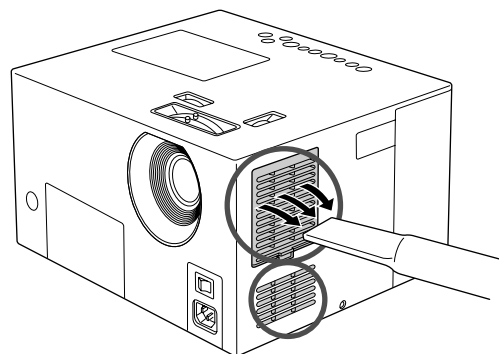
お手入れの方法や消耗品の交換などのメンテナンスについて説明します。

各部の掃除

エアーフィルタ・吸気口の掃除

エアーフィルタや吸気口にホコリがたまっていたり、「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアーフィルタの掃除、または交換を行ってください。」とメッセージが表示されたときは、エアーフィルタと吸気口のホコリを掃除機で吸い取ります。

注意

エアーフィルタや吸気口にホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。約3ヶ月に1度はエアーフィルタと吸気口の掃除を行うことをお勧めします。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除を行ってください。

本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

投写レンズの掃除

レンズの汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

注意

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

消耗品の交換時期

エアーフィルタの交換時期

エアーフィルタが汚れたり、壊れたとき
オプションの「エアーフィルタ」と交換してください。☞「オプション品・消耗品一覧」p. 64

ランプの交換時期

- 投写開始時に、「投写ランプを交換してください。」とメッセージが表示されたとき
- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

- 初期の明るさや画質を維持するため、ランプの使用時間が最短で約1900時間を経過すると、ランプ交換メッセージが表示されます。メッセージの表示時間はカラーモード設定などお使いの状況により変わります。
- 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものもあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお奨めします。
- 交換用ランプはお近くのエプソン商品取扱店および、エプソンOAサプライ(フリーダイヤル0120-251528)でお買い求めください。

付録

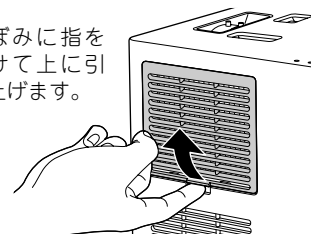
消耗品の交換方法

エアーフィルタの交換方法

ポイント

使用済みのエアーフィルタは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。
フィルタ材質：ポリプロピレン

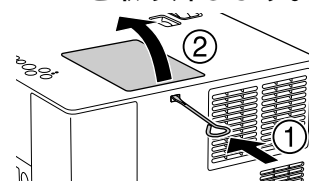
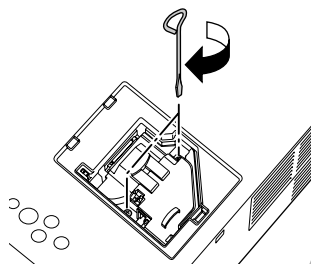
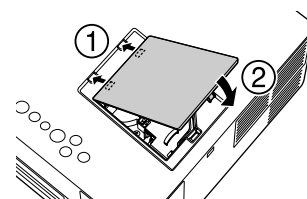
1 電源を切りクールダウンが終了し「ピッピッ」と鳴ったら、主電源スイッチを切ります。

2 エアーフィルタカバーを外します。

ランプの交換方法

⚠ 注意

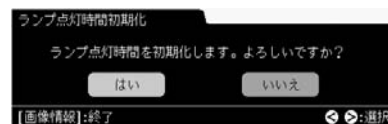
使用直後はランプが熱くなっています。電源を切ってから約1時間たち、ランプが十分冷えてから交換の作業をしてください。

1 電源を切りクールダウンが終了し「ピッピッ」と鳴ったら、主電源スイッチを切ります。

2 ランプカバー開スイッチに、オプションのランプに同梱のドライバを差し込んだまま、ランプカバーを取り外します。

6 ランプ固定ネジをしっかり締めます。

7 ランプカバーを取り付けます。

ランプ点灯時間の初期化

ランプ交換をした後は、必ずランプ点灯時間の初期化をしてください。
本機にはランプ点灯時間のカウンタが内蔵されており、このカウンタを元にランプ交換のメッセージを表示します。

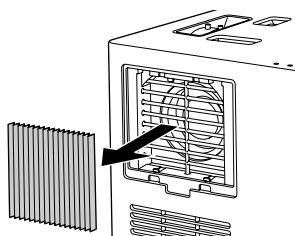
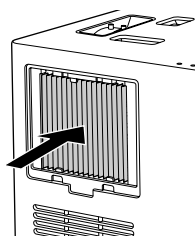
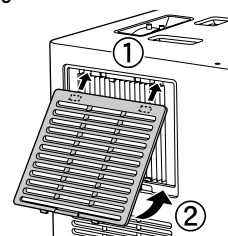
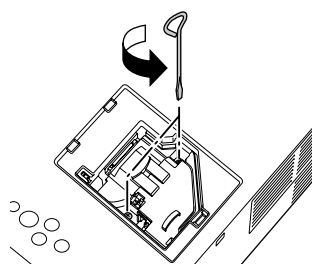
1 主電源スイッチを入れ、⏻を押します。ランプが消えているときは映像On/Offを押して投写します。

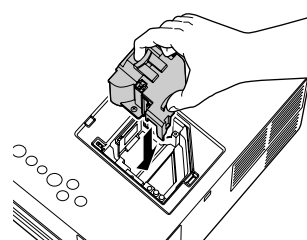
2 投写している状態で画像情報を繰り返し押して、「ランプ点灯時間初期化」を表示させます。

3 古いエアーフィルタを取り外します。

4 新しいエアーフィルタを取り付けます。

5 エアーフィルタカバーを取り付けます。

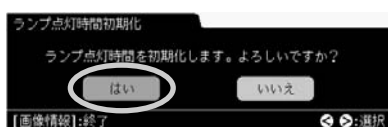
①

②

3 ランプ固定ネジをゆるめます。

4 古いランプを取り出します。

5 新しいランプを取り付けます。

注意

- ランプやランプカバーは確実に取り付けてください。本機は安全のため取り付けが不十分だとランプが点灯しません。
- ランプには水銀が含まれています。使用済みのランプは、地域の蛍光管の破棄ルールに従って廃棄してください。

3 (>)(<)を押して「はい」を選択します。(画像情報)を押すと初期化が実行されます。

付録

オプション品・消耗品一覧

下記のオプション品・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション品類は2006年8月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

消耗品

交換用ランプ　ELPLP33	エアーフィルタ　ELPAF09
（ランプ1個） 使用済みランプと交換します。	（エアーフィルタ1枚） 使用済みのエアーフィルタと交換します。

オプション品

80型スプリングローラー式スクリーン　ELPSC15 スクリーンスタンド　ELPSCST01	アンプ内蔵サブウーファー　ELPSP01
巻き上げ式のスクリーンと専用スタンドです。 アスペクト比16:9	迫力のある重低音がお楽しみいただけます。

投写距離とスクリーンサイズ

下表を参考にして、スクリーンに映像が最適な大きさで映るように設置してください。

単位:cm

16:9　スクリーンサイズ		投写距離 最短　最長 (ズーム調整ワイド)～(ズーム調整テレ)
30型	66 x 37	73～111
40型	89 x 50	99～149
60型	130 x 70	149～225
80型	180 x 100	200～301
100型	220 x 120	251～377
120型	270 x 150	301～453
150型	330 x 190	377～567

単位:cm

4:3　スクリーンサイズ		投写距離 最短　最長 (ズーム調整ワイド)～(ズーム調整テレ)
30型	61 x 46	90～136
40型	81 x 61	121～183
60型	120 x 90	183～276
80型	160 x 120	245～369
100型	200 x 150	307～462
120型	240 x 180	369～555
150型	300 x 230	462～694

対応解像度一覧

コンポジットビデオ/S-ビデオ

単位：ドット

信号	解像度	アスペクトモード		
		ノーマル	ワイド	ズーム
TV(NTSC)	720×480 720×360※	640×480 (4:3)	854×480 (16:9)	854×480 (16:9)
TV(PAL, SECAM)	720×576 720×432※	640×480 (4:3)	854×480 (16:9)	854×480 (16:9)

※レターボックス信号

コンポーネントビデオ

単位：ドット

信号	解像度	アスペクトモード		
		ノーマル	ワイド	ズーム
SDTV(525i, 60Hz)	720×480 720×360※	640×480 (4:3)	854×480 (16:9)	854×480 (16:9)
SDTV(625i, 50Hz)	720×576 720×432※	640×480 (4:3)	854×480 (16:9)	854×480 (16:9)
SDTV(525p)	720×480 720×360※	640×480 (4:3)	854×480 (16:9)	854×480 (16:9)
SDTV(625p)	720×576 720×432※	640×480 (4:3)	854×480 (16:9)	854×480 (16:9)
HDTV(750p)16:9	1280×720	854×480 (16:9)	-	-
HDTV(1125i)16:9	1920×1080	854×480 (16:9)	-	-

※レターボックス信号

コンピュータ映像

単位：ドット

信号	解像度	アスペクトモード		
		ノーマル	ワイド	ズーム
VGA60/72/75/85,iMac※	640×480	640×480	854×480	854×480
SVGA56/60/72/75/85/, iMac※	800×600	640×480	854×480	854×480
XGA60/70/75/85,iMac※	1024×768	640×480	854×480	854×480
MAC13"	640×480	640×480	854×480	854×480
MAC16"	832×624	640×480	854×480	854×480
MAC19"	1024×768	640×480	854×480	854×480

※ VGA出力ポートが装着されていない機種には接続できません。

- VESA規格に準拠した信号を投写できます。
- 上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。　ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

仕様一覧

<table>
<tr><td>商品名</td><td colspan="4">EMP-TWD3</td></tr>
<tr><td>外形寸法</td><td colspan="4">340(幅)×180(高さ)×310(奥行き)mm(フット含まず)</td></tr>
<tr><td>パネルサイズ</td><td colspan="4">0.55型ワイド</td></tr>
<tr><td>表示方式</td><td colspan="4">ポリシリコンTFTアクティブマトリクス</td></tr>
<tr><td>画素数</td><td colspan="4">409,920個(横854 x縦480ドット) x 3</td></tr>
<tr><td>フォーカス調整</td><td colspan="4">手動式</td></tr>
<tr><td>ズーム調整</td><td colspan="4">手動式(約1:1.5)</td></tr>
<tr><td>レンズシフト</td><td colspan="4">手動(上下方向最大約50%、左右方向最大約25%)</td></tr>
<tr><td>ランプ(光源)</td><td colspan="4">UHEランプ　定格135W　型番ELPLP33</td></tr>
<tr><td rowspan="2">電源</td><td colspan="4">100V AC±10%、50/60Hz</td></tr>
<tr><td colspan="4">定格消費電力230W　待機時消費電力6W</td></tr>
<tr><td>動作高度</td><td colspan="4">標高　0m～2286m</td></tr>
<tr><td>使用温度範囲</td><td colspan="4">+5℃～+35℃(結露しないこと)</td></tr>
<tr><td>保存温度範囲</td><td colspan="4">−10℃～+60℃(結露しないこと)</td></tr>
<tr><td>質量</td><td colspan="4">約7.0Kg</td></tr>
<tr><td rowspan="7">接続端子</td><td rowspan="4">入力</td><td>Audio端子</td><td>1系統</td><td>RCAピンジャック</td></tr>
<tr><td>S-Video端子</td><td>1系統</td><td>ミニDIN　4pin</td></tr>
<tr><td>Video端子</td><td>1系統</td><td>RCAピンジャック</td></tr>
<tr><td>Computer端子</td><td>1系統</td><td>ミニD-Sub 15pin</td></tr>
<tr><td rowspan="3">出力</td><td>Subwoofer端子</td><td>1系統</td><td>RCAピンジャック</td></tr>
<tr><td>Optical Audio-Out端子</td><td>1系統</td><td>光角形ジャック</td></tr>
<tr><td>ヘッドホン端子</td><td>1系統</td><td>3.5mmミニジャック</td></tr>
<tr><td>スピーカ</td><td colspan="4">出力音圧レベル79dB/W･m
最大入力(JIS)10W　定格インピーダンス4Ω</td></tr>
<tr><td rowspan="6">オーディオ出力</td><td rowspan="5">アナログ
音声出力</td><td colspan="3">スピーカ1系統:実用最大出力10W+10W(10%THD　JEITA/ 4 Ω)</td></tr>
<tr><td colspan="3">ヘッドホン1系統 :12mW/32Ω
適合インピーダンス 16Ω～1kΩ</td></tr>
<tr><td colspan="3">サブウーファー1系統 (L+R):0.25Vrms/27kΩ</td></tr>
<tr><td colspan="3">ダイナミックレンジ　70dB(JEITA)以上</td></tr>
<tr><td colspan="3">全高調波ひずみ率 0.5%(JEITA)以下</td></tr>
<tr><td>デジタル
音声出力</td><td colspan="3">光:−21dBm～−15dBm</td></tr>
<tr><td>再生可能ディスク</td><td colspan="4">DVDビデオ、ビデオCD、SVCD、オーディオCD、CD-R/RW(オーディオCD、ビデオCD、SVCD、MP3/WMA、JPEGフォーマット)、DVD-R/RW(DVDビデオフォーマット)</td></tr>
</table>

本機にはPixelworks DNX™のICが搭載されています。

付録

用語解説

JPEG
画像ファイルを保存する形式のひとつです。デジタルカメラで撮った写真などのほとんどはJPEG形式で保存されています。

MP3
MPEG1 Audio Layer-3の略で、音声圧縮の規格のひとつです。音質を保ちながらデータのサイズを大幅に縮小できるという特長があります。

NTSC
National Television Standards Committeeの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式のひとつです。この方式は日本や北米、中南米で利用されています。

PAL
Phase Alternation by Lineの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式のひとつです。この方式はフランス以外の西ヨーロッパ諸国をはじめ、中国などのアジア諸国やアフリカなどで利用されています。

SECAM
SEquential Couleur A Memoireの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式のひとつです。フランス、東ヨーロッパや旧ソ連、中東、アフリカなどで利用されています。

WMA
「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7、7.1、Windows Media Player for Windows XP、またはWindows Media Player 9 Seriesを使用してエンコードすることができます。
WMAファイルは、米国Microsoft Corporationより認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

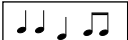
アスペクト
画面の縦と横の比率をいいます。縦横の比率が16:9と横長になっている画面をワイド画面といいます。通常のテレビ方式の画面のアスペクトは4:3でノーマル画面といいます。本機は、再生するディスクによって自動的にアスペクトを認識します。

クールダウン
投写によって高温になっているランプを冷却する処理です。映像On/Offを押して投写をやめたり、⏻を押して電源を切ると自動的に行われます。クールダウン中は主電源スイッチを切らないでください。クールダウンが行われずランプや本機内部に高熱がこもったままとなり、ランプの寿命が短くなったり本機の故障の原因となります。「ピッピッ」と鳴ったらクールダウンは終了です。

視聴制限
視聴年齢制限のことです。過激なシーンを含むDVDビデオの中には、視聴者の年齢に合わせて規制レベルが設定されているものもあります。

ダイナミックレンジ
ディスクに記録されている音声レベルの最小値と最大値の比率をdB(デシベル)単位で表したものです。本機では、爆音などの大きな音を低減し、話し声などの小さな音をはっきり聞こえるように補正できます。

光デジタル出力
音声信号をデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものです。外からケーブルにノイズが混入したり逆にノイズを発しない、という特長があります。

プレイバックコントロール(PBC)
ビデオCDの再生方式のひとつです。表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。

ディスクに関する用語

タイトル/チャプター/トラック
DVDビデオは、大きくはタイトルという単位に分かれていて、そのタイトルの中がチャプターという小単位に分かれています。

DVDビデオ			
タイトル1		タイトル2	
チャプター1	チャプター2	チャプター1	チャプター2

ビデオCDやオーディオCDはトラックという単位で分かれています。

ビデオCD/オーディオCD			
トラック1	トラック2	トラック3	トラック4

索引

数字・アルファベット

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ラ

サポート･サービスのご案内

本機に関するご質問･ご相談には、以下のサポート窓口でお応えいたします。それぞれの電話番号･アドレスは、本書裏表紙の一覧表をご覧ください。

- **エプソンのホームページ**
  各種製品情報をはじめ、最新のイベントやフェア、サポートなど、さまざまな情報を満載したホームページです。
- **プロジェクターインフォメーションセンター**
  プロジェクターに関するご質問、ご相談に電話でお応えいたします。
- **エプソンの各修理センター**
  プロジェクターの修理に関するお問い合わせ、ご相談に電話でお応えいたします。
- **消耗品のご購入**
  交換用ランプやオプション類は、エプソンOAサプライでお買い求めいただけます。

保証書

本製品の保証内容は、お買い上げ日より１年間の持ち込み修理の保証となっております。製品に添付の保証書の内容をよくご覧いただき、大切に保管してください。
保証期間中に万一、故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。

修理を依頼される前に

「故障かな？」と思ったら、本書の「困ったときに」をご覧いただき、接続や設定に間違いのないことをご確認ください。
それでも直らないときは、次の処置を行ってから修理を依頼してください。
ご自分での修理は、大変危険ですので絶対にしないでください。
①本機の主電源スイッチを切る。
②本機の電源端子とコンセントから電源ケーブルを抜く。

保守サービスの種類と申し込み先

本機には、次の保守サービスが用意されています。ご要望に合うものをお選びください。プロジェクターの出張修理サービスは行っていません。商品名や製品ごとのシリアル番号は、製品を識別するのに必要です。この情報が記載されているプレートやラベルがはがされているなどで識別できない製品については、修理に応じられないことがあります。あらかじめご了承ください。

サービスの種類	概要	持ち込み先･送付先/申し込み先
持ち込み修理	修理品をお持ちいただくか、送付していただき、いったんお預かりして修理します。	• 製品をお買い求めいただいた販売店 • エプソンの各修理センター 各修理センターの連絡先は、本紙裏表紙の一覧をご覧ください。
ドア to ドアサービス	お申し込みいただくと、エプソン指定の運送業者が修理品を引き取りに伺います。 ドア to ドア料金(輸送費)は有償となります。保証期間外の場合は、ドア to ドア料金とは別に修理代金が必要となります。	エプソンの各修理センター 各修理センターの連絡先は、本書裏表紙の一覧をご覧ください。

部品の保有期間

当社は、本製品の補修用性能部品(本製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年保有しています。この期間は経済産業省の指導(昭和49年通達)によるものです。

ご注意

(1)本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
(2)本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
(4)運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5)本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(裏表紙参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6)エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
(7)本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。
(8)日本国外では本製品の修理・保守サービスおよび不具合などの対応はお受けできませんのでご了承ください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

電源高調波について

この装置は、JIS C 61000-3-2「高調波電流発生限度値」に適合しております。

商標について

Windows Media、Windowsのロゴ、VGAは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
XGAはINTERNATIONAL BUSINESS MACHINES CORPORATIONの登録商標または商標です。
iMacはApple Computer Inc.の登録商標です。
本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
本機は、デジタル・シアター・システムズ社からの実施権に基づき製造されています。dts、DTSおよびDTS 2.0+DIGITAL OUTは、デジタル・シアター・システムズ社の商標です。
Pixelworks、DNXはPixelworks社の商標です。
DVDビデオのロゴは商標です。
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

EMP-TWD3

取扱説明書

EPSON

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●プロジェクターインフォメーションセンター　製品の操作方法・お取り扱い等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。

ナビダイヤル 0570ー004110　【受付時間】月～金曜日9:00～20:00　土曜日10:00～17:00（祝日・弊社指定休日を除く）

＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。

＊新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

＊携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、（0263）54-5800までお電話ください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

＊修理について詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●ドアtoドアサービス（修理品有償ピックアップサービス）に関するお問い合わせ先

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話　ナビダイヤル 0570ー090ー090　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。

＊新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

＊携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州（中国地方を除く）	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）※松本修理センターは365日受付可。

＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

愛情点検　**長年ご使用のプロジェクターの点検を!**

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

こんな症状はありませんか?

- ●電源スイッチを入れても、映像や音が出ない。
- ●映像が時々消えることがある。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- ●内部に水や異物が入った。
- ●電源コードが傷んだ。

ご使用中止

コンセントから電源プラグを抜いて必ず取扱販売店にご相談ください。

●ショールーム　＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ（ホームページアドレス http://epson-supply.jp またはフリーコール 0120ー251528）でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

70306002

この取扱説明書は100%再生紙を使用しています。

PRINTED WITH SOY INK

環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

Printed in China
06.XX-XA(G04)

410663200